

2025 年度  
年次報告書

2026.3 作成

東京理科大学国際化推進機構・国際化推進センター

# 目次

国際化推進センター長挨拶.....	4
国際化推進機構・センター概要.....	5
国際化推進機構中期計画.....	6
1. 海外教育研究機関との連携.....	8
1-1 海外協定校.....	8
1-2 教員交流の推進.....	
(1)協定校への派遣教員事業.....	10
(2)外国人招へい教員事業.....	10
2. 教員のグローバル化を促進するための在外研究員制度の拡充.....	12
2-1 在外研究員派遣事業.....	12
3. 学生の国際競争力を高めるプログラム整備.....	
3-1 長期派遣・受入プログラム.....	
(1)ダブルディグリープログラム.....	13
(2)海外教育研究機関への派遣・受入.....	15
(3)外国人留学生受入手続き支援制度.....	17
(4)カリフォルニア大学1年留学プログラム.....	18
3-2 短期留学プログラム.....	
(1)語学研修プログラム.....	19
(2)グローバル研修プログラム.....	21
(3)各種派遣プログラムの過去5年間の推移.....	23
3-3 世界を身近にする環境整備.....	
(1)インターナショナルラウンジ.....	24
(2)インターナショナルラウンジ利用状況.....	24
4. 大学院生の国際会議発表の促進.....	27
4-1 大学院博士後期課程学生国際学会等派遣事業.....	27
5. 若手研究者の国際会議派遣の推進.....	29
5-1 若手研究者国際学会派遣事業.....	29

## 6. 外国人教員の増員並びに研究室の国際化の推進

## 6-1 外国人教員の雇用

外国人教員の雇用状況..... 31

## 6-2 外国人留学生獲得による研究室の国際化の推進

(1)国費外国人留学生制度..... 32

(2)マレーシアツイニングプログラム..... 33

(3)IAESTE による海外学生の受入れ..... 34

(4)独立行政法人国際協力機構 (JICA) 事業による海外学生の受入れ..... 35

(5)国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

「国際青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプログラム: SSP)」..... 36

(6)インド若手科学頭脳循環プログラム..... 37

(7)さくらサイエンスプログラム双方向交流派遣..... 37

(8)ビザ取得支援..... 38

(9)学内宿泊施設の管理・利用促進..... 38

6-3 英語を用いた指導による研究室の国際化の推進..... 39

(1)教育職員・博士..... 39

## 7. その他

## 7-1 学生への情報提供の充実

(1)留学・国際交流パンフレットの作成、Web サイトの更新..... 40

(2)チャットボットの導入・活用..... 40

(3)LINE..... 40

## 7-2 学外団体の利用

(1)トビタテ! 留学 JAPAN 新日本代表プログラム..... 41

(2)日本学生支援機構 (JASSO) 留学生支援事業..... 41

(3)日本学術振興会 (JSPS)..... 41

(4)JAFSA..... 42

(5)JCSOS..... 42

(6)IAESTE..... 42

(7)米国非営利教育財団スタディ・アブロード・ファウンデーション(SAF)..... 42

## 7-3 外国人留学生数

外国人留学生数の状況..... 43

## 国際化推進センター長挨拶

国際化推進センター長 牧内 博幸

日本国政府は内外の大きな情勢変化を受け、特に科学技術力が引き続き低迷している中、国際卓越研究大学の選定などを通じた大学支援を強化すると同時に、インドなどを中心とするグローバル・サウス諸国との科学技術協力を積極的に推進しています。

今後の大学の国際化推進に際しては、上記のような国際的潮流から外れては大きな効果は望めません。特に、政府による大学支援に際しては、まず国際面での実績を求められることから、本学では、P.6~7に示す「中期計画 2026 国際化重点課題・継続課題」の5つの取り組みを引き続き実施し、これらの成功体験を着実に積み上げていく所存です。

これまでの国際化推進センター会議を中心とした議論及び活動の成果としては、2カ国を重点国として活動を進める点が挙げられます。留学生の往来等を通じた関係の向上が認められ、地理的利便性の高いフランスと、グローバル・サウスの中心的存在であり今後日本との幅広い関係強化が期待されるインドです。今後はフランス及び欧州各国の大学や研究機関との更なる交流進展が期待されますが、インドの大学とは既に留学生を受け入れる方向で種々の具体的検討が進められています。

本学の国際化の流れは2031年の本学創立150周年の一連の活動を契機に大きく伸張することが期待されます。特に短期的な最重要課題として大学院レベルでの英語を通じた授業の実施があげられ、中長期的には学部レベルでの英語を通じた授業の実施が強く求められます。右は、2020年の小学校での英語授業の必修化を受けたものですが、同時に留学生を積極的に受け入れる環境整備が必須となるためです。これに対しては教授陣の英語力向上に資する施策を充実させて参ります。あわせて、キャンパス内で既存の留学生の活動（母国の広報動画作成・放映等）の支援や海外研修経験のある学生や教員等の活動（研修・研究報告パワポや動画の作成等）を通じて、国際化に向けた刺激を常時受けやすいキャンパス環境を整える方向です。また、学生の外国語学習への意欲を引き出すため、引き続き担当教員からその重要性（企業の英語公用化の動き、将来の職業選択時の選択肢の拡大、及び外国人研究者との共同研究によるイノベーションの促進など）を啓発頂くよう、学内の会議体等を通じて周知して参ります。更に、春夏の短期海外語学研修の参加者の多くが、語学学習の重要性を痛感して帰国し、その後の語学学習で大きな成果を出していること、また、多くの世界の友人をつくと同時に海外渡航へのハードルを下げて帰国していることから、今後とも海外語学研修の啓発、更には学内各キャンパスでのインターナショナルラウンジでの英会話学習の利用を促進していきます。この他、学生の父母に語学学習の重要性をご理解いただくため、父母懇談会などを通じてその重要性を強く訴えて参ります。

今後とも外部資金の利用についても積極的に進めて参りますが、より多くの学生への海外体験の提供という観点からは国際協力機構（JICA）の海外協力隊派遣事業等も効果的と考えますので、これへのチャレンジも含めた学生の海外研修を後押しします。また、より具体的な政府の企画としてJETROの学生向けスタートアップ研修が存在するので、右への積極的参加を引き求めて参ります。

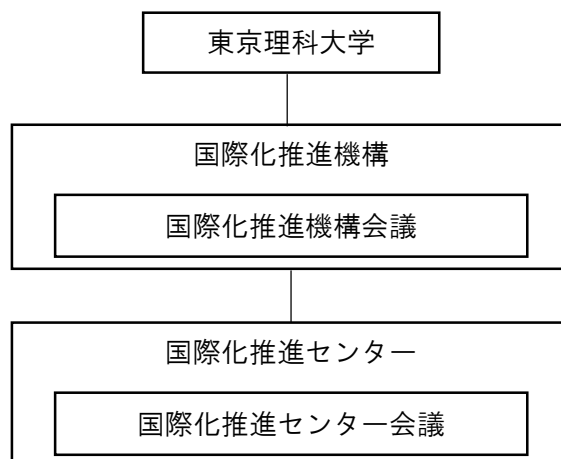
本報告書は、2025年度における「東京理科大学国際化推進センター」の活動報告となります。国際化推進センターでは、引き続き国際化の推進のため各種支援を充実させていきますが、より良い環境の実現のためには、学内のすべての教職員や学生の皆さまのご協力が不可欠となります。

今後とも、国際化推進センターの運営に一層のご協力をよろしくお願いいたします。（2026.3.31 記）

# 国際化推進機構・国際化推進センター概要

## 1. 組織

### (1) 組織図



### (2) 国際化推進機構

国際化推進機構は、本学における国際化推進施策及び戦略を企画立案するとともに、全学的な観点からグローバル人材の育成と、国際連携を推進し、本学の国際的地位の向上を図ることを目的に、2015年4月に設置された。本学の国際化を全学一体となって推進するため、「学校法人東京理科大学中期計画2026」をもとに、2022年度から2026年度までの5年間に実施すべき国際化推進の方針、目標、具体的施策の立案に取り組む。

#### 【国際化推進機構会議】

国際化推進機構に、機構の運営に関する事項を審議するため、国際化推進機構会議（以下「機構会議」）を置く。機構会議は、次に掲げる事項を審議する。

- ① 国際化推進方針及び国際化推進戦略の策定に関する事項
- ② 機構の事業計画に関する事項
- ③ センターの設置及び改廃に関する事項
- ④ 機構の人事に関する事項
- ⑤ 機構に関する諸規程等の制定及び改廃に関する事項
- ⑥ その他機構の管理・運営に関する事項

### (3) 国際化推進センター

国際化推進機構に国際化推進センター（以下「センター」）を置き、本学における国際化推進に係る諸施策を実施するとともに、学生及び教職員の国際活動を支援し、本学の教育研究の更なる国際化に資することを目的に、以下の活動を行う。

- ① 学生の海外派遣及び受入れに関すること
- ② 教職員の海外派遣及び受入れに関すること
- ③ 外国の大学等教育研究機関との国際交流協定に関すること
- ④ 学生の語学留学プログラムに関すること
- ⑤ その他本学の国際化推進に関すること

## 2. 国際化における重点課題・継続課題(中期計画 2026 をもとに)

### (1) 「学校法人東京理科大学中期計画 2026」の中における国際化の重点課題

2022 年の 3 月に策定した「学校法人東京理科大学中期計画 2026」には、法人・大学が一丸となって取り組む目標や課題がまとめられている。その中で、本学の国際化は、「グローバルな社会において多様な人々と交わり共創できる力」に資するものとの位置づけである。今期（2022～2026）中は、下記 2 つの課題に重点的かつ優先的に取り組むことが求められている。

- ① 教員のグローバル化を促進するための在外研究員制度の拡充
- ② 学生の国際競争力を高めるプログラム整備

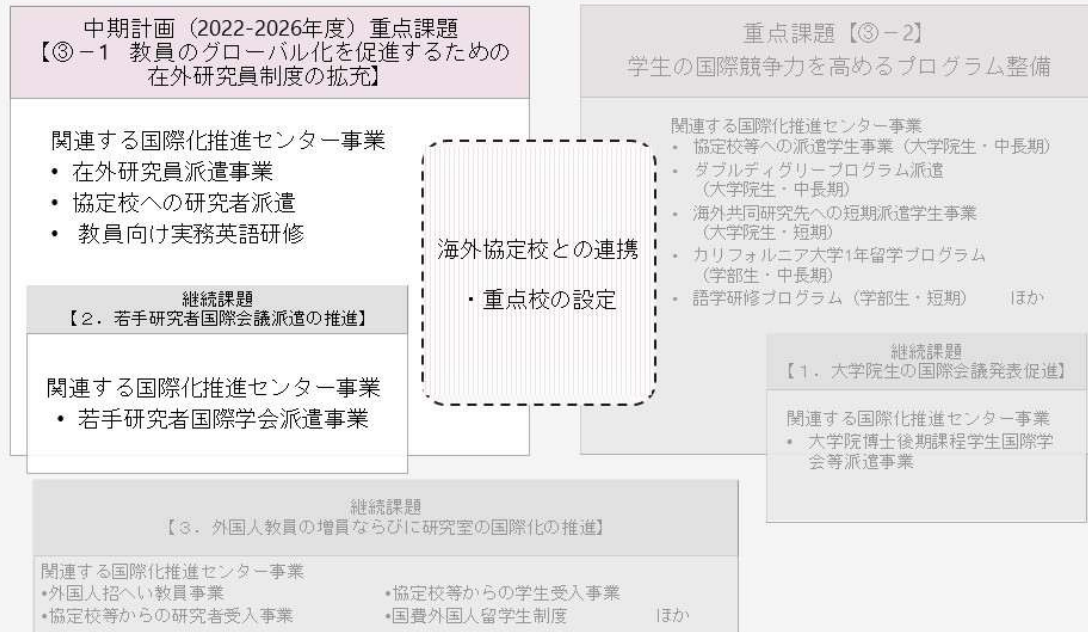
### (2) 国際化における継続課題

上記に上げた 2 つの重点課題の他、継続的に取り組むべき具体的な課題として下記の 3 つが設定されている。

- ① 大学院生の国際会議発表促進
- ② 若手研究者国際会議派遣の推進
- ③ 外国人教員の増員ならびに研究室の国際化の推進

国際化推進センターの各事業と、中期計画 2026 における各課題との関係をまとめたものが、次の図である。

## 学校法人東京理科大学 中期計画2026 国際化重点課題



## 学校法人東京理科大学 中期計画2026 国際化重点課題

中期計画  
重点課題

③-1 教員のグローバル化を促進するための在外研究員制度の拡充

③-2 学生の国際競争力を高めるプログラム整備

継続的に取り組む  
重要課題

1. 大学院生の国際会議発表促進

2. 若手研究者国際会議派遣の推進

3. 外国人教員の増員ならびに研究室の国際化の推進

## 1. 海外教育研究機関との連携

### 1-1 海外協定校

2026年2月1日現在、31か国・地域の81大学3機関と協定を締結しており、教職員及び学生の交流、共同研究、情報交換等を行っている。

【地域・国別協定校数】

(地域・国は五十音順)

地域	国名	協定	地域	国名	協定
アジア	インド	3	欧州	フランス	8
	インドネシア	3		ブルガリア	1
	韓国	7		ポーランド	1
	シンガポール	1		ポルトガル	1
	タイ	4		モルドバ共和国	1
	台湾	5		リトアニア共和国	1
	中国	12		ルーマニア	4
	ベトナム	1		ロシア	1
	マレーシア	3		<b>計</b>	<b>35</b>
	<b>計</b>	<b>39</b>		中南米	コスタリカ
欧州	アイルランド	1	ドミニカ共和国		1
	イギリス	2	ブラジル		1
	イタリア	3	<b>計</b>	<b>3</b>	
	オーストリア	2	北米	アメリカ	4
	カザフスタン	1		カナダ	2
	スペイン	2		<b>計</b>	<b>6</b>
	スロベニア	1	アフリカ	エジプト	1
	ドイツ	5		<b>計</b>	<b>1</b>
<b>総計</b>				<b>84</b>	

## 協定校一覧

インド	インド国立化学研究所	イタリア	モデナ・レッジョ・エミリア大学
インド	チョウドリ・チャラン・シン大学	イタリア	カリアリ大学
インド	インド理工科大学	イタリア	ローマ・トル・ヴェルガータ大学
インドネシア	バンドン工科大学	オーストリア	ウィーン工科大学
インドネシア	アイルランガ大学	オーストリア	アッパーオーストリア応用科学大学
インドネシア	カリマンタン工科大学	カザフスタン	カザフ国立大学
韓国	高麗大学	スペイン	マドリード工科大学
韓国	成均館大学	スペイン	ハエン大学
韓国	湖西大学	スロベニア	リュブリアナ大学
韓国	ソウル大学校	ドイツ	ハノーファー大学
韓国	韓国中央大学	ドイツ	科学技術・経済・デザイン・ヴィスマール専門大学
韓国	釜山大学	ドイツ	ロストック大学
韓国	誠信女子大学	ドイツ	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学
シンガポール	シンガポール工科デザイン大学	ドイツ	イエナ応用科学大学
タイ	チェンマイ大学	フランス	トゥルーズ建築学校
タイ	チュラロンコン大学	フランス	リール建築大学
タイ	モンクット王工科大学ラカバン校	フランス	パリ・ベルヴィル建築大学
タイ	アジア工科大学	フランス	国立リール化学大学院
台湾	国立陽明交通大学	フランス	ナンシー建築大学
台湾	元智大学	フランス	国立宇宙航空大学院大学
台湾	台北医学大学	フランス	リール大学
台湾	台北科技大学	フランス	パリ第1（バンテオン・ソルボンヌ）大学
台湾	国立地震工学研究センター	ブルガリア	ブルガリア科学アカデミー
中国	新疆大学	ポーランド	アダム・ミツケヴィチ大学
中国	天津大学	ポルトガル	リスボン工科大学
中国	上海交通大学	モルドバ共和国	モルドバ工科大学
中国	中国石油大学（北京）	リトアニア共和国	ヴィリニユス大学
中国	浙江大学	ルーマニア	アレクサンドル・ヨアン・クザ大学
中国	鄭州大学	ルーマニア	ブカレスト工科大学
中国	西安交通大学	ルーマニア	ヤシ工科大学
中国	北京科技大学	ルーマニア	イオン・ミンク建築・都市計画大学
中国	大連理工大学	ロシア	モスクワ電力工学研究所（工科大学）
中国	曲阜師範大学	コスタリカ	コスタリカ大学
中国	中国科学院大学	ドミニカ共和国	カトレカ・マドレ・マエストラ大学
中国	大連医科大学	ブラジル	サンパウロ大学
中国	湘潭大学	アメリカ	メリーランド大学
ベトナム	国立土木工学大学	アメリカ	カリフォルニア大学デイビス校
マレーシア	マラヤ大学	アメリカ	コネチカット大学
マレーシア	国際医療大学	アメリカ	スタンフォード大学医学研究科睡眠研究所
マレーシア	マレーシアプルス大学	カナダ	ウォータールー大学
アイルランド	メイヌース大学	カナダ	サスカチュワン大学
イギリス	ブルネル大学	エジプト	ダマンフル大学
イギリス	キングストン大学		

## 1-2 教員交流の推進

### (1) 協定校への派遣教員事業

本学教員と協定校の教員の共同研究の推進、及び交流に関する打合せ等を目的としている。

#### 【国際化推進センター負担経費】

航空賃：エコノミークラスの往復航空賃（空港までの国内旅費を含む）

日 当：派遣先地域によって支給額が異なる

宿泊費：派遣先地域によって支給額が異なる

※派遣先機関から旅費が支給される場合は、重複する費目は支給しない。

#### 【2025 年度実績】

派遣教員数：3 名

	所属	職名	派遣先国	派遣先大学	派遣期間		日数
1	創域理工学部経営システム工学科	准教授	マレーシア	マラヤ大学	2025年6月15日	～ 2025年6月22日	8
2	理学部第一部物理学科	嘱託助教	中国	浙江大学	2025年8月31日	～ 2025年9月29日	30
3	工学部建築学科	嘱託助教	台湾	元智大学	2025年10月31日	～ 2025年11月3日	4

※8月31日～9月4日は付加用務。

### (2) 外国人招へい教員事業

外国の学界で活躍する優れた外国人教員等を本学に一定期間招へいすることで、当該学部および研究科等の国際化推進に寄与することを目的としている。なお、外国人招へい教員（オンライン）事業に関して 2025 年度の募集はなし。

#### 【国際化推進センター負担経費】

航空費：エコノミークラスの往復航空賃

滞在費：日額 10,000 円～12,000 円（客員宿舎を利用しない場合は 15,000 円～17,000 円）

#### 【2025 年度実績】

招へい者数：25 名

No.	学部・研究科	学科・専攻	招へい研究者所属機関名	招へい研究者職名	招へい元国名	招へい期間		滞在日数
						開始日	終了日	
1	理学部第一部	化学科	University of Birmingham	教授	イギリス	2025年5月18日	～ 2025年5月21日	4
2	創域理工学部	社会基盤工学科	Indian Institute of Technology, Kanpur	教授	インド	2025年7月7日	～ 2025年8月4日	29
3	経営学部	経営学科	タマサート大学	講師	タイ	2025年7月8日	～ 2025年7月21日	14
4	工学部	建築学科	Maryland Institute College of Art	教授	アメリカ	2025年7月9日	～ 2025年8月6日	29
5	先進工学部	物理工学科	Indian Institute of Technology Madras, Chennai	准教授	インド	2025年7月13日	～ 2025年7月27日	15
6	生命科学研究所	生命医学研究所	Lund University	研究者	スウェーデン	2025年8月25日	～ 2025年9月2日	9
7	創域理工学部	情報計算科学科	Institute of Marine Research	教授	ノルウェー	2025年9月21日	～ 2025年10月19日	29
8	工学部	電気工学科	Ostbayerische Technische Hochschule Regensburg	教授	ドイツ	2025年9月28日	～ 2025年10月8日	11
9	教養教育研究院	北海道・長万部キャンパス教養部	ストラスブール大学	准教授	フランス	2025年10月2日	～ 2025年10月31日	30
10	生命医学研究所	生命医学研究所	ストラスブール大学	准教授	フランス	2025年10月18日	～ 2025年10月30日	13
11	教養教育研究院	葛飾キャンパス教養部	Alfréd Rényi Institute of Mathematics	特別研究員	ハンガリー	2025年11月17日	～ 2025年12月2日	16
12	理学部第一部	応用数学科	Baggio School for Engineering	退官済み	フランス	2025年12月5日	～ 2025年12月17日	13
13	薬学部	薬学科	Iowa State University	教授	アメリカ	2025年12月6日	～ 2025年12月12日	7
14	先進工学部	生命システム工学科	A*STARシンガポール科学技術庁	主席研究員	シンガポール	2025年12月7日	～ 2025年12月11日	5
15	創域理工学部	情報計算科学科	Middlesex University	准教授	イギリス	2025年12月7日	～ 2025年12月21日	15
16	創域理工学部	社会基盤工学科	Chung-Ang University	教授	韓国	2026年1月19日	～ 2026年2月12日	25
17	先進工学部	物理工学科	ブラウン大学	教授	アメリカ	2026年2月26日	～ 2026年3月9日	12
18	工学部	工業化学科	University of Strathclyde	准教授	イギリス	2026年3月4日	～ 2026年3月18日	15
19	工学部	工業化学科	University of Bayreuth	正教授	ドイツ	2026年3月5日	～ 2026年3月18日	14
20	工学部	工業化学科	University of Michigan	准教授	アメリカ	2026年3月8日	～ 2026年3月27日	20
21	理学部第一部	応用化学科	The University of Messina	正教授	イタリア	2026年3月8日	～ 2026年3月13日	6
22	理学部第一部	応用化学科	University of California, Davis	教授	アメリカ	2026年3月8日	～ 2026年3月14日	7
23	創域理工学部	先端化学科	University of California, Irvine	教授	アメリカ	2026年3月8日	～ 2026年3月15日	8
24	総合研究機構	総合研究院	The Hong Kong Polytechnic University	教授	中国	2026年3月9日	～ 2026年3月13日	5
25	創域理工学部	経営システム工学科	University of California, Santa Cruz	教授	アメリカ	2026年3月18日	～ 2026年3月30日	13

## 2. 教員のグローバル化を促進するための在外研究員制度の拡充

### 2-1 在外研究員派遣事業

東京理科大学の専任教員を海外に一定期間派遣し、専門分野に関する研究に専念させる機会を与え、教員の教育及び研究能力を向上させるとともに、当該事業での経験を活かし、外国語による専門科目の講義・研究指導が行えるような教員を養成すること、及び派遣先大学等学術研究機関と将来にわたり共同研究を遂行するための基盤を構築することを目的としている。

#### 【国際化推進センター負担経費】

渡航費：エコノミークラスの往復航空賃

滞在費：月額 20 万円または 25 万円

※派遣先地域によって支給額が異なる

#### 【2025 年度実績】

・任期の定めのない教員：採択 9 名、実施 9 名

	学部・研究科	学科	職名	受入研究機関	国・地域名	派遣期間			派遣日数
1	工学部	建築学科	教授	BOKU university	オーストリア	2025年4月6日	～	2025年8月31日	148
2	創域理工学部	生命生物科学科	講師	University of Córdoba	スペイン	2025年5月1日	～	2025年7月28日	89
3	創域理工学部	建築学科	准教授	The University of Melbourne	オーストラリア	2025年4月1日	～	2026年3月30日	364
4	創域理工学部	先端化学科	講師	Bowling Green State University	アメリカ	2025年10月1日	～	2026年5月31日	243
5	先進工学部	物理工学科	教授	University of Surrey	イギリス	2025年10月1日	～	2026年9月7日	342
6	経営学部	国際デザイン経営学科	准教授	University of Nottingham	イギリス	2025年4月1日	～	2026年3月31日	365
7	教養教育研究院	神楽坂キャンパス 教養部	准教授	Carleton University	カナダ	2025年4月1日	～	2026年3月31日	365
8	教養教育研究院	神楽坂キャンパス 教養部	教授	Max Planck Institute	ドイツ	2026年3月2日	～	2027年3月1日	365
9	教養教育研究院	葛飾キャンパス 教養部	教授	Seoul National University	韓国	2025年9月4日	～	2026年8月31日	362

・任期付き教員：採択 3 名、実施 3 名

	学部・研究科	学科	職名	受入研究機関	国・地域名	派遣期間			派遣日数
1	理学部第一部	数学科	嘱託助教	University of Turin	イタリア	2025年4月1日	～	2025年8月18日	140
2	薬学部	薬学科	嘱託特別講師	Harvard Medical School	アメリカ	2025年10月1日	～	2026年4月2日	184
3	創域理工学部	機械航空宇宙工学科	嘱託助教	University of Miami	アメリカ	2025年4月20日	～	2026年2月21日	293
						(2025年8月26日～2025年9月9日の期間を除く)			

### 3. 学生の国際競争力を高めるプログラム整備

#### 3-1 長期派遣・受入プログラム

##### (1)ダブルディグリープログラム

本学と海外の協定校の両大学で学び、それぞれの必要要件を満たす学生が、修了時に両大学で学位を取得することができるプログラム。現在、国立陽明交通大学及び台北医学大学とダブルマスターディグリー（DMD）に係る協定を、サスカチュワン大学と DMD 及びダブルドクターディグリー（DDD）に係る協定を締結し、学生の派遣・受入を行っている。

##### 【国際化推進センター負担経費】

###### ①ダブルディグリープログラム（派遣）

「海外教育研究機関（協定校含む）への派遣学生」の制度を利用して次の経費を負担。

渡航費：日本発の往復国際航空券（上限 25 万円）を現物支給する。

日 当：1 日につき、2,000 円とし、25 万円を上限とする。

宿泊費：1 泊につき、3,000 円とし、35 万円を上限とする。

※予算執行額は「海外教育研究機関（協定校含む）への派遣学生」の項で計上。

（サスカチュワン大学との DMD/DDD のみ）

上記に加え、先方大学の意向から、サスカチュワン大学とは授業料相互不徴収の取り決めを行っていないため、参加学生にとって経済的負担を軽減する目的で、留学期間中の本学学生の本学授業料及び施設設備費に相当する額を免除する。

※他の DMD 実施先大学とは授業料等不徴収の取り決めを行っている。

###### ②ダブルディグリープログラム（受入）

各大学との協定にて、受入学生の本学在籍期間中の授業料等不徴収を定めているため、不徴収相当分を国際化推進センター予算で負担する。

##### 【各プログラム概要及び派遣受入実績】

###### (i) 国立陽明交通大学（台湾）との DMD プログラム

創域理工学研究科経営システム工学専攻と、台湾の国立陽明交通大学 Department of Industrial Engineering and Management in the College of Management との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の 2 つの学位を得ることができる。

東京理科大学修士（工学）／国立陽明交通大学修士 Master of Science

##### 【2025 年度実績】

派遣者数 1 名

受入者数 0 名

**(ii) 台北医学大学との DMD プログラム**

先進工学研究科マテリアル創成工学専攻と、台湾の台北医学大学 College of Biomedical Engineering との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の2つの学位を得ることができる。

東京理科大学修士（工学）／台北医学大学 Master of Science

**【2025 年度実績】**

派遣者数 0 名

受入者数 2 名

**(iii) サスカチュワン大学との DMD プログラム**

先進工学研究科物理工学専攻と、カナダのサスカチュワン大学 Department of Physics and Engineering Physics, College of Art and Science との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の2つの学位を得ることができる。

東京理科大学修士（工学）／サスカチュワン大学 Master of Science

**【2025 年度実績】**

派遣者数 0 名

受入者数 0 名

**(iv) サスカチュワン大学との DDD プログラム**

先進工学研究科物理工学専攻と、カナダのサスカチュワン大学 Department of Physics and Engineering Physics, College of Art and Science との相互交流プログラム。

博士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の2つの学位を得ることができる。

東京理科大学博士（工学）／サスカチュワン大学 Doctor of Philosophy

**【2025 年度実績】**

派遣者数 0 名

受入者数 0 名

## (2)海外教育研究機関への派遣・受入

### I.海外教育研究機関への派遣学生

外国の大学等学術研究機関へ中長期の研究を目的として学生を派遣するプログラムである。本学指導教員と派遣先大学教員との間で共同研究を実施しており、派遣学生の共同指導に係る合意がとれている必要がある。

#### 【国際化推進センター負担経費】

渡航費：日本発の往復国際航空券（上限 25 万円）を現物支給する。

滞在費：1 日につき、2,000 円とし、25 万円を上限とする。

宿泊費：1 泊につき、3,000 円とし、35 万円を上限とする

#### 【2025 年度派遣実績】

派遣者数：20 名

No.	本学との協定の有無	派遣先大学	派遣国	所属	派遣期間（予定含む）		派遣日数
					開始日	終了日	
1	無	中央研究院	台湾	先進工学研究科物理学専攻	2025年5月11日	2025年11月7日	181
2	無	ダルムシュタット工科大学	ドイツ	創域理工学研究科機械航空宇宙工学専攻	2025年5月23日	2025年8月1日	71
3	無	ブリティッシュコロンビア大学	カナダ	創域理工学研究科建築学専攻	2025年8月1日	2025年12月19日	141
4	有	リール建築大学	フランス	工学研究科建築学専攻	2025年8月17日	2026年8月9日	358
5	有 (DMD)	国立陽明交通大学	台湾	創域理工学研究科経営システム工学専攻	2025年8月27日	2026年8月31日	370
6	有	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学	ドイツ	工学研究科電気工学専攻	2025年8月31日	2025年12月16日	108
7	有	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学	ドイツ	工学研究科電気工学専攻	2025年8月31日	2025年12月16日	108
8	無	アムステルダム大学	オランダ	理学研究科物理学専攻	2025年9月1日	2025年11月20日	81
9	無	ノヴァデリスボン大学	ポルトガル	工学研究科電気工学専攻	2025年9月7日	2025年12月27日	112
10	有	ハノーファー大学	ドイツ	経営学部国際デザイン経営学科	2025年10月1日	2026年3月31日	182
11	有	カタルーニャ工科大学	スペイン	創域理工学研究科建築学専攻	2025年10月1日	2026年3月28日	179
12	無	チュービンゲン大学	ドイツ	理学研究科物理学専攻	2025年10月19日	2026年10月18日	365
13	有	ウィーン工科大学	オーストリア	創域理工学研究科建築学専攻	2025年11月24日	2026年10月31日	342
14	無	シュトゥットガルト大学	ドイツ	理学研究科物理学専攻	2025年12月8日	2026年12月7日	365
15	有	パリ・ベルヴィル建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2026年1月28日	2026年8月1日	186
16	有	リスボン大学	ポルトガル	創域理工学研究科建築学専攻	2026年2月1日	2026年7月29日	179
17	有	リール建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2026年2月12日	2026年7月31日	170
18	有	リール建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2026年2月12日	2026年8月31日	201
19	有	リスボン大学	ポルトガル	創域理工学研究科建築学専攻	2026年3月19日	2026年7月30日	134
20	有	メリーランド大学	アメリカ	創域理工学研究科先端化学専攻	2026年3月29日	2026年9月5日	161

※国立陽明交通大学との DMD プログラムとの重複あり

## II.海外教育研究機関からの受入れ学生

教育研究環境の国際化を目的として、外国の大学等学術研究機関から、研究目的の学生を1か月～1年間、本学の研究室で受け入れる制度である。授業料不徴収の対象学生または希望する場合は、授業料不徴収（国際化推進センター負担）としている。

## 【2025 年度受入れ実績】

受入者数：52 名

	協定	派遣大学	派遣国	受入部署	受入期間（予定含む）	受入日数	月数
1	有	イエナ応用科学大学	ドイツ	先進工学研究科物理学専攻	2025年4月1日～2025年4月16日	16	1
2	有	ウィーン工科大学	オーストリア	創域理工学研究科建築学専攻	2025年4月1日～2025年9月30日	183	6
3	有	ウィーン工科大学	オーストリア	創域理工学研究科建築学専攻	2025年4月1日～2025年9月30日	183	6
4	有	パリ・ベルヴィル建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2025年4月1日～2025年8月29日	151	5
5	有	リール建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2025年4月1日～2026年1月30日	305	10
6	有 (協定に拠らない)	イエナ応用科学大学	ドイツ	理学部第一部応用物理学	2025年4月2日～2025年5月30日	59	5
7	有	アダム・ミツェヴィチ大学	ポーランド	理学研究科化学専攻	2025年4月7日～2025年4月20日	14	1
8	有	リール建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2025年4月15日～2026年1月30日	291	10
9	無	SeaTech Toulon	フランス	工学研究科機械工学専攻	2025年4月23日～2025年8月27日	127	5
10	無	モンクット王工科大学北バンコク校	タイ	創域理工学研究科電気電子情報工学専攻	2025年5月1日～2025年10月31日	184	6
11	無	プルトーニュー先端技術国立学校	フランス	先進工学研究科機能デザイン工学専攻	2025年5月1日～2025年9月30日	153	5
12	無	プルトーニュー先端技術国立学校	フランス	先進工学研究科機能デザイン工学専攻	2025年5月1日～2025年9月30日	153	5
13	無	プルトーニュー先端技術国立学校	フランス	先進工学研究科機能デザイン工学専攻	2025年5月1日～2025年9月30日	153	5
14	無	プルトーニュー先端技術国立学校	フランス	工学研究科機械工学専攻	2025年5月5日～2025年9月14日	133	5
15	無	プルトーニュー先端技術国立学校	フランス	工学研究科機械工学専攻	2025年5月5日～2025年9月5日	124	5
16	無	プルトーニュー先端技術国立学校	フランス	工学研究科機械工学専攻	2025年5月5日～2025年9月5日	124	5
17	無	プルトーニュー先端技術国立学校	フランス	工学研究科機械工学専攻	2025年5月5日～2025年9月5日	124	5
18	無	プルトーニュー先端技術国立学校	フランス	工学研究科機械工学専攻	2025年5月5日～2025年9月5日	124	5
19	無	プルトーニュー先端技術国立学校	フランス	工学研究科機械工学専攻	2025年5月5日～2025年9月5日	124	5
20	無	プルトーニュー先端技術国立学校	フランス	工学研究科機械工学専攻	2025年5月5日～2025年9月5日	124	5
21	有 (協定に拠らない)	モンクット王工科大学ラカバン校	タイ	先進工学部電子システム工学科	2025年5月7日～2025年6月6日	31	2
22	有 (協定に拠らない)	モンクット王工科大学ラカバン校	タイ	先進工学部電子システム工学科	2025年5月7日～2025年6月6日	31	2
23	無	パリ東クレティユ大学	フランス	先進工学研究科機能デザイン工学専攻	2025年5月12日～2025年7月31日	81	3
24	無	プルトーニュー先端技術国立学校	フランス	工学研究科機械工学専攻	2025年5月12日～2025年9月12日	124	5
25	無	プルトーニュー先端技術国立学校	フランス	工学研究科機械工学専攻	2025年5月12日～2025年9月12日	124	5
26	無	SRM科学技術大学	インド	薬学研究科薬学専攻	2025年5月16日～2025年8月13日	90	4
27	無	国立先端技術学校	フランス	理学研究科物理学専攻	2025年5月26日～2025年8月24日	91	4
28	有	国立宇宙航空大学院大学	フランス	工学研究科電気工学専攻	2025年5月26日～2025年7月11日	47	3
29	有	国立宇宙航空大学院大学	フランス	工学研究科電気工学専攻	2025年5月26日～2025年7月11日	47	3
30	無	SRM科学技術大学	インド	先進工学部機能デザイン工学科	2025年6月1日～2025年7月9日	39	2
31	無	SRM科学技術大学	インド	先進工学部機能デザイン工学科	2025年6月1日～2025年7月9日	39	2
32	無	SRM科学技術大学	インド	先進工学部機能デザイン工学科	2025年6月1日～2025年7月9日	39	2
33	無	ジョンズ・ホプキンス大学	アメリカ	先進工学部機能デザイン工学科	2025年6月9日～2025年8月8日	61	3
34	無	インド工科大学	インド	理学部第一部物理学	2025年6月16日～2025年7月17日	32	2
35	無	ウェスタン大学	カナダ	創域理工学研究科先端化学専攻	2025年9月1日～2026年1月30日	152	5
36	有	ナンシー建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2025年9月1日～2026年8月31日	365	12
37	有	パリ・ベルヴィル建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2025年9月1日～2026年8月31日	365	12
38	有	パリ・ベルヴィル建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2025年9月1日～2026年8月31日	365	12
39	有	パリ・ベルヴィル建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2025年9月7日～2026年9月6日	365	13
40	有	ナンシー建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学専攻	2025年9月10日～2026年7月1日	295	11
41	無	マドリッド・カルロス3世大学	スペイン	先進工学研究科機能デザイン工学専攻	2025年9月15日～2025年12月15日	92	4
42	無	ABC連邦大学	ブラジル	理学研究科物理学専攻	2025年10月1日～2026年4月30日	212	7
43	無	杭州電子科技大学	中国	工学研究科機械工学専攻	2025年10月14日～2026年1月16日	95	4
44	無	杭州電子科技大学	中国	工学研究科機械工学専攻	2025年10月14日～2026年1月16日	95	4
45	有	チュラロンコン大学	タイ	経営学研究科経営学専攻	2026年1月1日～2026年10月31日	304	10
46	無	トロント大学	カナダ	創域理工学部機械航空宇宙工学科	2026年1月5日～2026年3月31日	86	3
47	無	ボルドー大学	フランス	生命科学研究科	2026年1月5日～2026年5月29日	145	5
48	無	タマサート大学	タイ	薬学研究科薬学専攻	2026年1月7日～2026年10月3日	270	10
49	無	国立成功大学	台湾	創域理工学研究科先端化学専攻	2026年1月8日～2026年3月8日	60	3
50	無	SRM科学技術大学	インド	薬学部薬学科	2026年1月15日～2026年7月15日	182	7
51	無	クロード・ベルナル・リヨン第1大学	フランス	薬学研究科薬学専攻	2026年3月12日～2026年5月12日	62	3
52	無	フランス国立高等工芸学校	フランス	先進工学研究科機能デザイン工学専攻	2026年3月16日～2026年8月15日	153	6

### (3)外国人留学生受入手続き支援制度

本学で受入れる外国人留学生が渡日して滞りなく教育・研究活動が開始できるよう、受入の準備・支援を行う受入指導教員の負担軽減を目的とする制度である。

#### 【国際化推進センター負担経費】

受入外国人留学生 1 人当たり上限 5 万円

#### 【2025 年度実績】

支援者数：20 名

	受入部局	受入れプログラム	原籍大学	派遣国
1	創域理工学研究科生命生物化学専攻	正規課程入学者		
2	創域理工学研究科生命生物化学専攻	正規課程入学者		
3	先進工学研究科物理工学専攻	海外教育研究機関からの受入学生	イエナ応用科学大学	ドイツ
4	先進工学研究科物理工学専攻	海外教育研究機関からの受入学生	イエナ応用科学大学	ドイツ
5	創域理工学研究科建築学専攻	海外教育研究機関からの受入学生	ウィーン工科大学	オーストリア
6	創域理工学研究科建築学専攻	海外教育研究機関からの受入学生	パリ・ベルヴィル建築大学	フランス
7	創域理工学研究科建築学専攻	海外教育研究機関からの受入学生	リール建築大学	フランス
8	創域理工学研究科建築学専攻	海外教育研究機関からの受入学生	リール建築大学	フランス
9	先進工学部電子システム工学科	海外教育研究機関からの受入学生	モンクット王工科大学ラカバン校	タイ
10	工学研究科電気工学専攻	海外教育研究機関からの受入学生	国立宇宙航空大学院大学	フランス
11	工学研究科電気工学専攻	海外教育研究機関からの受入学生	国立宇宙航空大学院大学	フランス
12	創域理工学研究科国際火災科学専攻	国費外国人留学生		
13	創域理工学研究科国際火災科学専攻	国費外国人留学生		
14	創域理工学研究科国際火災科学専攻	JICA事業による受入		
15	創域理工学研究科建築学専攻	海外教育研究機関からの受入学生	ナンシー建築大学	フランス
16	創域理工学研究科建築学専攻	海外教育研究機関からの受入学生	ナンシー建築大学	フランス
17	創域理工学研究科建築学専攻	海外教育研究機関からの受入学生	パリ・ベルヴィル建築大学	フランス
18	創域理工学研究科建築学専攻	海外教育研究機関からの受入学生	パリ・ベルヴィル建築大学	フランス
19	創域理工学研究科国際火災科学専攻	国費外国人留学生		
20	創域理工学研究科国際火災科学専攻	国費外国人留学生		

#### (4)カリフォルニア大学 1 年留学プログラム

1年間、カリフォルニア大学デイビス校が実施するGlobal Study Programに参加する学部学生を対象とするプログラムである。通常3月下旬に渡航し、学生の英語力に応じて通年で専門科目を履修、または、前半に英語集中プログラムを受講後、後半に専門科目を履修し、単位を修得する。修得した単位は帰国後所属の学科が認めた場合に本学の単位として認定される。また、留学期間中は本学に在籍し、休学とはしない。

##### 【国際化推進センター負担経費】

授業料等：当該年度の本学授業料（授業料・教育充実費）

渡航費：成田/羽田⇄サンフランシスコの往復分

##### 【2025 年度派遣実績】

参加学科数：32 学科

派遣者数：5 名

	学部	学科	派遣期間	備考
1	理学部第二部	化学科	2025 年 3 月 24 日～2026 年 3 月 24 日	専門科目を履修し、単位を修得。
2	工学部	建築学科	2025 年 3 月 24 日～2026 年 3 月 26 日	専門科目を履修し、単位を修得。
3	創域理工学部	生命生物科学科	2025 年 3 月 24 日～2026 年 3 月 26 日	専門科目を履修し、単位を修得。
4	先進工学部	物理工学科	2025 年 3 月 24 日～2026 年 3 月 26 日	専門科目を履修し、単位を修得。
5	先進工学部	機能デザイン工学科	2025 年 3 月 24 日～2026 年 3 月 26 日	専門科目を履修し、単位を修得。

## 3-2 短期留学プログラム

### (1) 語学研修プログラム

夏期休暇期間又は学年度末の約 1 か月間、学生を海外へ派遣するプログラムであり、現地の英語での授業の受講により英語スキルを向上させるとともに、異文化体験を通じて広い視野と国際感覚を養うことを目的とする。本プログラムは、本学が企画し、旅行企画及び実施を業者へ委託している。参加費用は、受益者負担として全額参加学生が負担する。2025 年度は以下のとおり全件渡航型で実施した。

#### 【夏期実施プログラム】

プログラム名称	ビクトリアプログラム	サンフランシスコプログラム
プログラム実施機関	ビクトリア大学附属語学学校	カリフォルニア大学デイビス校
実施期間	2025 年 8 月 4 日～8 月 24 日(21 日間)	2025 年 8 月 7 日～9 月 7 日(32 日間)
参加者数	14 名	10 名

プログラム名称	バンクーバー(CCEL)プログラム	マンチェスタープログラム
プログラム実施機関	Canadian College of English Language 語学学校	マンチェスター大学
実施期間	2025 年 8 月 17 日～9 月 7 日(22 日間)	2025 年 8 月 9 日～9 月 7 日(30 日間)
参加者数	13 名	8 名

プログラム名称	マニラプログラム
プログラム実施機関	デラサール アラネタ大学附属 語学学校
実施期間	2025 年 8 月 24 日～9 月 6 日(14 日間)
参加者数	6 名

※以下プログラムについては、実施に係る最少催行人数を満たさず不催行となった。

- ・ロンドンプログラム(ブルネル大学)2 週間コース

## 【春期実施プログラム】

プログラム名称	メルボルンプログラム ※新規	ビクトリアプログラム
プログラム実施機関	ディーキン大学附属英語学校	ビクトリア大学附属語学学校
実施期間	2026年2月3日～3月7日(33日間)	2026年2月1日～3月1日(29日)
参加者数	25名	14名

プログラム名称	バンクーバー(CCEL)プログラム	サンフランシスコプログラム
プログラム実施機関	Canadian College of English Language 語学学校	カリフォルニア大学デイビス校
実施期間	2026年2月8日～3月1日(22日間)	2026年2月12日～3月15日(32日間)
参加者数	14名	13名

プログラム名称	バンクーバー (UBC) プログラム
プログラム実施機関	ブリティッシュコロンビア大学附属語学学校
実施期間	2026年2月22日～3月22日(29日間)
参加者数	2名

※以下プログラムについては、実施に係る最少催行人数を満たさず不催行となった。

- ・マニラプログラム (デラサール アラネタ大学附属語学学校)

## 【語学研修プログラム 学部・研究科別参加者数】

学部/研究科別 参加者一覧	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
理学部第一部	29	1	1	5	7	18	10
理学部第二部	6	0	0	1	2	4	6
工学部	25	0	1	5	13	15	18
薬学部	5	2	0	0	2	5	4
創域理工学部	36	5	4	7	25	27	27
先進工学部	32	1	1	9	15	22	26
経営学部	17	0	2	7	24	23	26
<b>学部計</b>	<b>150</b>	<b>9</b>	<b>9</b>	<b>34</b>	<b>88</b>	<b>114</b>	<b>117</b>
理学研究科	1	0	0	0	0	1	0
工学研究科	0	0	0	0	0	2	0
薬学研究科	0	0	1	0	0	1	0
創域理工学研究科	0	0	2	0	0	5	2
先進工学研究科	1	0	0	0	0	1	0
経営学研究科	0	0	0	1	0	0	0
生命科学研究科	0	0	0	0	0	0	0
<b>大学院計</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>合計</b>	<b>118</b>	<b>152</b>	<b>9</b>	<b>12</b>	<b>35</b>	<b>88</b>	<b>119</b>

## (2) グローバル研修プログラム

国境を超えた学びと交流の機会を提供し、異文化に触れながら新たな視野を広げ、自己成長を促進することを目的としたプログラムである。2025 年度は以下のとおり全件渡航型で実施した。

### 【夏期実施プログラム】

プログラム名称	<b>カンボジアプログラム</b>
実施期間	① 2025 年 8 月 16 日～8 月 24 日(9 日間) ② 2025 年 8 月 27 日～9 月 4 日(9 日間)
実施概要	カンボジアでの研修・視察を通じて現地のニーズに合った課題解決に取り組む。 ①課題「カンボジア教育支援団体のパンフレットを作成せよ」 ②課題「フェアトレードコーヒーの販売アイデアを提案せよ」
参加者数	4 名

### 【春期実施プログラム】

プログラム名称	<b>カンボジアプログラム</b>	<b>シリコンバレープログラム</b>
実施期間	① 2026 年 2 月 14 日～2 月 22 日(9 日間) ② 2026 年 2 月 25 日～3 月 5 日(9 日間)	2026 年 2 月 15 日～2 月 22 日(8 日間)
実施概要	カンボジアでの研修・視察を通じて現地のニーズに合った課題解決に取り組む。 ①課題「カンボジア教育支援団体のパンフレットを作成せよ」 ②課題「フェアトレードコーヒーの販売アイデアを提案せよ」	多様な環境を訪れ、知識のインプットに加え、ワークショップやグループ発表などの課題型アウトプットを通して、シリコンバレー流の発想法や前向きな行動様式を体験する。
参加者数	6 名	7 名

プログラム名称	<b>フランスプログラム</b>
実施期間	2026 年 3 月 16 日～3 月 22 日(7 日間)
実施概要	本学協定校を訪問して交流し、さらに産業・行政・学術の現場や歴史的建造物を巡る。これらの体験を通じて、フランスの文化や価値観への理解を深め、グローバルな視野と教養を育み、海外での挑戦を将来のキャリアにつなげる。
参加者数	14 名

## 【グローバル研修プログラム 学部・研究科別参加者数】

学部/研究科別 参加者一覧	2018 年度	2019 年度 ~2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
理学部第一部	2	-	6	-	1	5
理学部第二部	0	-	0	-	0	1
工学部	8	-	2	-	1	12
薬学部	4	-	0	-	0	1
創域理工学部	9	-	7	-	10	4
先進工学部	1	-	2	-	0	1
経営学部	7	-	3	-	2	7
<b>学部計</b>	<b>31</b>	<b>-</b>	<b>20</b>	<b>-</b>	<b>14</b>	<b>31</b>
理学研究科	1	-	2	-	0	0
工学研究科	0	-	0	-	0	0
薬学研究科	0	-	0	-	0	0
創域理工学研究科	0	-	2	-	3	0
先進工学研究科	1	-	0	-	0	0
経営学研究科	0	-	0	-	1	0
生命科学研究科	0	-	0	-	0	0
<b>大学院計</b>	<b>2</b>	<b>-</b>	<b>2</b>	<b>-</b>	<b>4</b>	<b>0</b>
<b>合計</b>	<b>33</b>	<b>-</b>	<b>24</b>	<b>-</b>	<b>18</b>	<b>31</b>

## (3)各種派遣プログラムの過去5年間の推移

	プログラム名	派遣先国・地域	派遣先大学等	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
語学研修プログラム	夏季	サンフランシスコプログラム	アメリカ	カリフォルニア大学デイビス校	5**	0**	15	15	10
		ロサンゼルスプログラム	アメリカ	カリフォルニア大学アーバイン校	--	--	0***	--	--
		シアトルプログラム	アメリカ	ワシントン大学	2**	--	--	--	--
		ロンドンプログラム 2週間コース	イギリス	ブルネル大学	--	--	--	10	0***
		ロンドンプログラム 4週間コース	イギリス	ブルネル大学	--	--	--	0***	--
		マンチェスタープログラム	イギリス	マンチェスター大学	--	--	6	17	8
		ケンブリッジプログラム	イギリス	ケンブリッジ大学ホマートン校	--	--	0***	--	--
		ビクトリアプログラム	カナダ	ビクトリア大学付属語学学校	1**	--	--	16	14
		バンクーバー (CCEL) プログラム	カナダ	CCEL 語学学校	--	--	10	5	13
		バンクーバー (UBC) プログラム	カナダ	ブリティッシュコロンビア大学	--	0**	7	--	--
	マニラプログラム	フィリピン	デラサール アラネタ大学付属語学学校	--	--	--	8	6	
	春季	サンフランシスコプログラム	アメリカ	カリフォルニア大学デイビス校	1**	11	18	14	13
		サンフランシスコプログラム(オンライン)	アメリカ	カリフォルニア大学デイビス校	--	--	0***	--	--
		ロサンゼルスプログラム	アメリカ	カリフォルニア大学アーバイン校	--	9	--	--	--
		ハワイプログラム	アメリカ	ハワイ大学マノア校	--	1	0***	--	--
		バンクーバー (UBC) プログラム	カナダ	ブリティッシュコロンビア大学付属語学学校	3**	--	12	9	2
		バンクーバー (CCEL) プログラム	カナダ	CCEL 語学学校	--	--	--	0***	14
		ビクトリアプログラム	カナダ	ビクトリア大学付属語学学校	--	14	20	26	14
		ケンブリッジプログラム	イギリス	ケンブリッジ大学ホマートン校	--	--	--	--	--
		メルボルンプログラム	オーストラリア	ディーキン大学附属英語学校	--	--	--	--	25
マニラプログラム		フィリピン	デラサール アラネタ大学付属語学学校	--	--	--	4	0***	
			小計	12	35	88	124	119	
グローバル研修プログラム	シリコンバレープログラム	アメリカ		中止*	24	--	15	7	
	カンボジアプログラム	カンボジア		--	--	--	3	10	
	フランスプログラム	フランス		--	--	--	--	14	
			小計	0	24	0	18	31	
協定校への派遣	カリフォルニア大学1年留学プログラム	アメリカ	カリフォルニア大学デイビス校	中止*	5	2	1	5	
	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学への経営学部学生派遣	ドイツ	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学	中止*	2	0	--	--	
	ハノーファー大学への経営学部学生派遣	ドイツ	ハノーファー大学		0	2	0	1	
	国立陽明交通大学とのDMDプログラム	台湾	国立陽明交通大学	2	0	0	0	1	
	台北医学大学とのDMDプログラム	台湾	台北医学大学	0	0	0	0	0	
	サスカチュワン大学とのDMDプログラム	カナダ	サスカチュワン大学	0	0	0	0	0	
	サスカチュワン大学とのDDDプログラム	カナダ	サスカチュワン大学	--	--	1	0	0	
	指導教員同士の共同研究に基づく派遣			1	6	9	12	11	
			小計	3	13	14	13	18	
協定校以外への派遣	指導教員同士の共同研究に基づく派遣			中止*	1	9	10	7	
	大学院博士後期課程学生国際学会等派遣			23	29	29	34		
	トビタテ！留学ジャパンによる派遣(外部機関)			1	--	1	2	1	
			小計	1	24	39	41	42	
さくらサイエンス 双方向交流派遣	ベトナム国家大学ハノイ校	ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校	中止*	--	7	--	--	
	インドネシアイスラム大学	インドネシア	インドネシアイスラム大学	--	--	--	9	3	
	マレーシアブルリス大学	マレーシア	マレーシアブルリス大学	--	--	--	3	--	
	国立台湾大学	台湾	国立台湾大学	--	--	--	--	3	
	アインシャムス大学	エジプト	アインシャムス大学	--	--	--	--	6	
			小計	0	0	7	12	12	
			合計	16	96	148	208	222	

\*新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

\*\*代替オンラインプログラムを実施

\*\*\*最少催行人数を満たさず不催行

### 3-3 世界を身近にする環境整備

#### (1) インターナショナルラウンジ

インターナショナルラウンジは、「世界の入り口はインターナショナルラウンジ」をコンセプトに、多様な価値観を共有する場の提供、及び学生の英語学習や海外留学への動機付けを行うことを目的とした学生向けサービスの総称である。

以下の4種類のサービスを全て無料で提供している。

- ① 英会話サービス「Casual Talking」
- ② 英語プレゼンテーションコーチングサービス「Brush Up! Presentation」
- ③ 各種セミナー
- ④ 各種イベント

#### (2) インターナショナルラウンジ利用状況

【2025 年度インターナショナルラウンジ利用状態】 ( ) は前年度実績

	Casual Talking	セミナー	イベント	Brush Up! Presentation	総計
利用者	1,975 名 (2,136 名)	232 名 (354 名)		32 名 (36 名)	2,239 名 (2,526 名)

## ①英会話サービス「Casual Talking」

様々な国籍のネイティブ講師と英語でフリートークを楽しめるサービスとして実施している。  
講師の派遣は外部業者に委託している。

	前期	後期	春休み
講師数	5名	4名	8名
形式	対面・オンライン		オンラインのみ
期間	4月16日～7月17日 (【対面】実働40日、【オンライン】実働65日)	9月17日～12月22日 (【対面】実働39日、【オンライン】実働25日)	2025年1月27日～2026年3月13日 (【オンライン】実働44日)
曜日	・【対面】月曜日、水曜日、木曜日 ・【オンライン】月曜日～金曜日  ※祝日を除く	・【対面】月曜日、水曜日、木曜日 ・【オンライン】火曜日、金曜日  ※祝日を除く	【オンライン】月曜日～日曜日  ※祝日を除く
時間	【対面】12:00～16:00 【オンライン】17:00～19:30	【対面】12:00～17:00 【オンライン】14:00～19:00	【オンライン】13:00～19:00
利用者数	1,008名 (【対面】844名、【オンライン】164名)	715名 (【対面】644名、【オンライン】71名)	252名
予算区分	国際化推進機構予算	こよう会国際化対応助成金	国際化推進機構予算 こよう会国際化対応助成金

## ②英語プレゼンテーションコーチングサービス「Brush Up! Presentation」

2023年4月から、英語プレゼンテーション能力の向上及び国際学会等における英語での発表をサポートすることを目的に、各キャンパスにおいて対面及びオンライン形式で、ネイティブ講師による英語プレゼンテーションに関する「模擬プレゼン」、「質疑応答」、「資料デザイン」等のコーチングサービスを提供している。講師の派遣は外部業者に業務委託している。

	前期	後期
講師数	1名	
形式	対面・オンライン	
期間	4月16日～7月17日 (予約日のみ実施)	9月17日～12月22日 (予約日のみ実施)
曜日	毎週月・水・木曜日	
時間	16:00～18:00 (1コマ1時間)	17:00～19:00 (1コマ1時間)
利用者数	12名	20名
予算区分	国際化推進機構予算	国際化推進機構予算

## ③・④ベント・セミナー

開催数 : 21回、参加学生数 : 232名

※イベント・セミナーの詳細については「別表」をご参照ください。

2025年度インターナショナルラウンジセミナー

講座名	形式	開催日	時間	定員	申込者数	参加者数	委託先	対象	講座説明
TOEIC®勉強法講座	オンライン	4月30日(水)	18:00-21:00	20	30	14	日米会話学院	・TOEIC®のスコアアップにつながる学習法、テキストを知りたい学生	TOEIC®の勉強法を紹介する講座です。パート別に、正答率をあげるのに「最適な学習方法」を紹介し、最適な学習方法を「正しいやり方」で学習することで学習時間の短縮を目指します。
TOEFL iBT®Listening & Reading講座	オンライン	5月7日(水)	18:00-21:00	20	26	9	日米会話学院	・TOEFL iBTを受験予定の学生 ・海外留学の準備をしている学生	TOEFL iBTの対策講座です。外国人講師からTOEFL iBT®のListening&Readingパートについて学びます。ITP(団体受験)テスト対策としても有効です。講座は全て英語で行われます。
英語プレゼン講座～初級編～	オンライン	5月27日(火)	18:00-21:00	20	13	6	ジェームズ英会話	・英語でのプレゼンが初めての学生 ・英語プレゼンの基本を知りたい学生	英語プレゼンテーションについての講座です。良い印象を与え、明確に伝わるプレゼンテーションを行うための基礎を外国人講師から学びます。日本語でプレゼンをしたことがあるものの、英語でのプレゼンが初心者の方の学生に選ばれる内容です。
TOEIC®600点突破講座	オンライン	6月11日(水)	18:00-21:00	20	25	12	日米会話学院	・TOEIC®を受験したことがある学生 ・TOEIC®600点突破を目指す学生	TOEIC®の対策講座です。TOEIC®600点突破に向けて、押さえておかなければならないPart及び問題タイプに取り込み特徴と攻略法について学びます。高得点を狙うための勉強法を紹介し、継続的な勉強を促します。
はじめてのIELTS™講座	オンライン	6月25日(水)	18:00-21:00	20	5	2	パークレーハウス	・はじめてIELTSを受ける学生 ・IELTSの対策方法を知りたい学生	IELTSアカデミックモジュールをこれから受ける学生向けの講座です。IELTSの4技能の対策方法を学ぶとともに、問題の演習により、独学が難しいIELTSの対策をしましょう！特に英・欧米圏への留学準備をする学生におすすめる講座です。
Academic Writing講座	オンライン	7月1日(火)	18:00-21:00	20	9	2	日米会話学院	・英語での論文・レポート作成に不慣れな学生 ・英語論文の執筆のための知識の取得、技術の向上を目指す学生	論文等、アカデミックな英文を作成する方法について学ぶ講座です。日本語と英語の文章構成の違いを理解し、各様式のノウハウを構文と構出表現を学ぶと共に、使える構文、語彙を拡充し書く力を伸ばします。講座は全て英語で行われます。
サバイバルイングリッシュ講座	対面@葛飾	8月6日(水)	10:00-17:00	20	16	15	日米会話学院	・海外留学を控えている学生 ・海外旅行を控えている学生	ホームステイ・留学先でコミュニケーションを取る際に必要な英語を学ぶ講座です。豊かな人間関係を築くために必要な語彙・表現・マナー等を習得することができます。講座内の実践演習により、一人で日常生活に対応できる英語スキルを習得することができます。講座は全て英語で行われます。
TOEIC®800点突破講座	オンライン	10月8日(水)	18:00-21:00	20	31	18	日米会話学院	・TOEIC®を受験したことがある学生 ・TOEIC®800点突破を目指す学生	TOEIC®の対策講座です。TOEIC®800点突破に向けて、押さえておかなければならないPart及び問題タイプに取り込み特徴と攻略法について学びます。高得点を狙うための勉強法を紹介し、継続的な勉強を促します。
TOEFL iBT®Speaking & Writing講座	オンライン	10月23日(木)	18:00-21:00	20	25	14	日米会話学院	・TOEFL iBTまたはITPを受験予定の学生 ・北米圏への留学の希望している学生	TOEFL iBTの対策講座です。外国人講師からTOEFL iBT®のSpeaking&Writingパートの攻略法について学びます。TOEFLのスコアアップだけでなくSpeakingとWritingのスキルアップにもなります。
IELTS™S6.0突破講座	オンライン	11月10日(月)	18:00-21:00	20	17	6	パークレーハウス	・IELTSアカデミックモジュールを受験予定の学生 ・IELTSのスコア6.0突破を目指す学生 ・英・米・欧州への留学を希望している学生(学部生・院生含む)	IELTSアカデミックモジュールの対策講座です。IELTSの対策方法を学ぶとともに、問題の演習により、独学が難しいIELTSの対策をしましょう！今回は、6.0突破を目指します。海外の大学院への進学を目指す学生にもおすすめる内容です。
飲食店英会話講座	対面@葛飾	12月6日(土)	13:00-16:00	20	17	8	パークレーハウス	・飲食店でアルバイトをしている学生	飲食店で外国人観光客の方への接客力を高める講座です。インバウンド需要が高まる昨今、接客態度と適切な英語表現を用いて、自信をもって接客できるようにしましょう。
サバイバルイングリッシュ講座	対面@神楽坂	1月27日(火)	9:00-16:00	20	21	15	日米会話学院	・海外留学を控えている学生 ・海外旅行を控えている学生	ホームステイ・留学先でコミュニケーションを取る際に必要な英語を学ぶ講座です。豊かな人間関係を築くために必要な語彙・表現・マナー等を習得することができます。講座内の実践演習により、一人で日常生活に対応できる英語スキルを習得することができます。
ビジネス英語講座	オンライン	2月18日(水)	13:00-16:00	20	13	4	日米会話学院	・TOEIC700点以上の学生 ・卒業後に英語を使って働きたい学生	ビジネス英語についての講座です。海外での文化やマナーの違いを理解し、グローバルな「ビジネスシーン」で役立つ実用的な英語力を身に付けることができます。

2025年度インターナショナルラウンジイベント

講座名	形式	開催日	時間	定員	申込者数	参加者数	委託先	講座開催費用	対象	講座説明
BOSCHインターン学生イベント @神楽坂	対面 @神楽坂	5月21日(水)	12:10-13:40	15	15	6	BOSCH		・様々な国からの外国人留学生と交流したい学生 ・BOSCHのような国際的な企業で働く様子について聞きたい学生	国際的な豊かなドイツ企業BOSCHでインターンしている多国籍な学生と英語で交流できるイベントです。 ・BOSCHのような国際的な企業で働く様子について聞きたい学生に、外国人インターン生との交流に加え、BOSCHでのインターンシップに係る情報を取得することもできます。
【Casual Talking】ポットラックパーティー	対面 @神楽坂、野田、葛飾	6月9日(月)	12:00-16:00			19	ジェームズ英会話		・英会話初心者 ・お菓子好きな学生	無料英会話Casual Talking【対面】のイベントです。講師と学生でそれぞれ好きな海外のお菓子を持ち寄り、パーティーをしましょう！お菓子を交換して楽しみましょう！
【Casual Talking】初心者応援日 ~先生と1対1で話そう~	オンライン	6月19日(木)	17:00-19:30	各コマ1人5名	6	4	ジェームズ英会話		・Casual Talkingの利用がはじめての学生 ・英会話に苦手意識のある学生	「英会話が苦手」「他の参加者がいると緊張する…」そんなリクエストにお応えするため、初心者応援日を設けます！1対1で優しい先生たちとゆっくりお話ししましょう。 ※事前予約制のイベントです！
【Casual Talking】七夕イベント	対面 @神楽坂、野田、葛飾	7月7日(月)	12:00-16:00			16	ジェームズ英会話		・Casual Talkingの利用がはじめての学生 ・英会話に苦手意識のある学生	無料英会話Casual Talking【対面】のイベントです。イベント期間中、各キャンパスのインターナショナルラウンジに設置された笹と短冊に、先生たちと一緒に、短冊に英語で願い事を書きます。
海外留学体験談 ~カリフォルニア大学1年留学プログラム留学者の話を聞こう！~	オンライン	9月22日(月)	16:30-18:00		21	11	学生		・留学に関心のある学生	海外留学を経験した学生からの話を聞くイベントです。留学して良かったこと、学んだこと、留学時に気づいたこと等を聞き、自身の留学プランを立てましょう。登壇者に直接質問することもできます。
【Casual Talking】ハロウィンイベント	対面 @神楽坂、野田、葛飾	10月30日(木)	12:00-17:00			30	ジェームズ英会話		・イベント・ハロウィンが好きな学生 ・異文化に興味のある学生 ・英会話初心者	無料英会話Casual Talking【対面】のイベントです。各講師の出身国でのハロウィンの過ごし方を聞きます。海外のハロウィン文化に触れるとともに、英語力を高めます。
BOSCHインターン学生イベント @野田	対面 @野田	11月18日(火)	12:10-13:40	15	6	4	BOSCH		・様々な国からの外国人留学生と交流したい学生 ・BOSCHのような国際的な企業で働く様子について聞きたい学生	国際的な豊かなドイツ企業BOSCHでインターンしている多国籍な学生と英語で交流できるイベントです。 外国人インターン生との交流に加え、BOSCHでのインターンシップに係る情報を取得することもできます。
【Casual Talking】クリスマスパーティー	対面 @神楽坂、野田、葛飾	12月22日(月)	12:00-17:00			17	ジェームズ英会話		・英会話に関心のある学生 ・外国文化に関心のある学生 ・英会話初心者	英会話のクリスマスイベントです。外国のクリスマスと年末年始の過ごし方について先生たちと聞くことができます。海外のクリスマス文化等に触れるとともに、英語力を高めます。

## 4. 大学院生の国際会議発表の促進

### 4-1 大学院博士後期課程学生国際学会等派遣事業

大学院博士後期課程学生が、海外で開催される国際学会等で研究発表することを推進し、学生が研究者として国際力を身に付け、知見を広めることで、国際的に貢献できる人材を育成することを目的とする。派遣期間は、原則 14 日以内を対象とする。

#### 【2025 年度実績】

採択数：合計 34 件

#### 【国際化推進センター負担経費】

- ・エコノミークラスの航空賃の実費  
(支給上限額)

「国」又は「地域区分」 (「地域区分」は外務省の定めによる)	支給経費 上限額
韓国・台湾	5 万円
中国・モンゴル	10 万円
アジア (上記を除く)・大洋州地域	15 万円
欧州・中東	25 万円
北米・中南米・アフリカ地域	30 万円

## 派遣状況一覧

No.	研究科	専攻	国・地域名	都市名	出発日	帰国日	派遣日数
1	創域理工学研究科	電気電子情報工学専攻	フランス	ストラスブール	2025年5月25日	～ 2025年6月1日	8
2	経営学研究科	経営学専攻	イギリス	ケンブリッジ	2025年5月31日	～ 2025年6月5日	6
3	先進工学研究科	物理学専攻	チェコ	ブラハ	2025年5月31日	～ 2025年6月7日	8
4	創域理工学研究科	建築学専攻	オーストラリア	ブリスベン	2025年6月21日	～ 2025年6月27日	7
5	創域理工学研究科	社会基盤工学専攻	シンガポール	シンガポール	2025年6月22日	～ 2025年6月28日	7
6	創域理工学研究科	社会基盤工学専攻	シンガポール	シンガポール	2025年6月23日	～ 2025年6月25日	3
7	理学研究科	物理学専攻	カナダ	モントリオール	2025年7月6日	～ 2025年7月12日	7
8	工学研究科	電気工学専攻	ポルトガル	リスボン	2025年7月6日	～ 2025年7月13日	8
9	創域理工学研究科	社会基盤工学専攻	オランダ	ロッテルダム	2025年7月6日	～ 2025年7月14日	9
10	創域理工学研究科	機械航空宇宙工学専攻	アメリカ	シカゴ	2025年7月20日	～ 2025年7月26日	7
11	先進工学研究科	生命システム工学専攻	アメリカ	ミルウォーキー	2025年7月24日	～ 2025年8月1日	9
12	理学研究科	化学専攻	アメリカ	ニューヨーク	2025年7月27日	～ 2025年8月3日	8
13	理学研究科	科学教育専攻	①韓国 ②スウェーデン	①仁川 ②リンシェーピング	①2025年8月6日 ②2025年8月10日	～ ①2025年8月9日 ②2025年8月16日	11
14	先進工学研究科	生命システム工学専攻	スペイン	バルセロナ	2025年8月8日	～ 2025年8月15日	8
15	創域理工学研究科	先端化学専攻	チェコ	ブラハ	2025年9月6日	～ 2025年9月14日	9
16	創域理工学研究科	生命生物科学専攻	ドイツ	ベルリン	2025年9月7日	～ 2025年9月13日	7
17	理学研究科	物理学専攻	ポルトガル	ポルト	2025年9月19日	～ 2025年9月26日	8
18	先進工学研究科	生命システム工学専攻	スペイン	アリカンテ	2025年9月24日	～ 2025年9月30日	7
19	薬学研究科	薬科学専攻	アメリカ	サンディエゴ	2025年11月14日	～ 2025年11月20日	7
20	薬学研究科	薬科学専攻	アメリカ	サンディエゴ	2025年11月15日	～ 2025年11月20日	6
21	理学研究科	応用数学専攻	オーストラリア	キャンベラ	2025年11月22日	～ 2025年11月30日	9
22	創域理工学研究科	情報計算科学専攻	オーストラリア	キャンベラ	2025年11月23日	～ 2025年11月29日	7
23	創域理工学研究科	電気電子情報工学専攻	アメリカ	ボストン	2025年11月29日	～ 2025年12月7日	9
24	薬学研究科	薬科学専攻	台湾	台北	2025年11月30日	～ 2025年12月6日	7
25	先進工学研究科	電子システム工学専攻	アメリカ	ボストン	2025年12月1日	～ 2025年12月7日	7
26	創域理工学研究科	生命生物科学専攻	カンボジア	プノンベン	2025年12月4日	～ 2025年12月10日	7
27	創域理工学研究科	情報計算科学専攻	イギリス	ロンドン	2025年12月12日	～ 2025年12月23日	12
28	創域理工学研究科	先端化学専攻	アメリカ	ホノルル	2025年12月14日	～ 2025年12月20日	7
29	薬学研究科	薬科学専攻	アメリカ	ホノルル	2025年12月14日	～ 2025年12月22日	9
30	創域理工学研究科	先端物理学専攻	アメリカ	ホノルル	2025年12月14日	～ 2025年12月22日	9
31	理学研究科	科学教育専攻	アメリカ	ホノルル	2025年12月15日	～ 2025年12月21日	7
32	理学研究科	化学専攻	アメリカ	ホノルル	2025年12月15日	～ 2025年12月23日	9
33	創域理工学研究科	社会基盤工学専攻	アメリカ	ワシントンD.C.	2026年1月10日	～ 2026年1月17日	8
34	理学研究科	物理学専攻	アメリカ	サンフランシスコ	2026年2月20日	～ 2026年2月26日	7

## 5. 若手研究者の国際会議派遣の推進

### 5-1 若手研究者国際学会派遣事業

海外で開催される国際学会で研究発表する若手研究者に旅費を支給することにより、国際人脈を構築する等、若手研究者のキャリアの早期段階からの国際的な活躍を推進することを目的とする。

派遣期間は、原則 14 日以内対象とする。

#### 【2025 年度実績】

採択数：合計 48 件

#### 【国際化推進センター負担経費】

・エコノミークラスの航空賃の実費

(支給上限額)

「国」又は「地域区分」 (「地域区分」は外務省の定めによる)	支給経費 上限額
韓国・台湾	5 万円
中国・モンゴル	10 万円
アジア (上記を除く)・大洋州地域	15 万円
欧州・中東	25 万円
北米・中南米・アフリカ地域	30 万円

## 派遣状況一覧

No.	所属	職名	講演の種類	国名	都市名	出発日	帰国日	派遣 日数
1	研究推進機構 生命医科学研究所	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	ハワイ	2025年4月27日	～ 2025年5月3日	7
2	工学部 機械工学科	嘱託助教	口頭発表	アメリカ	アトランタ	2025年5月18日	～ 2025年5月24日	7
3	工学部 電気工学科	嘱託助教	口頭発表	イギリス	ロンドン	2025年5月24日	～ 2025年5月30日	7
4	創域理工学部 経営システム工学科	嘱託助教	ポスター発表	オランダ	ロッテルダム	2025年5月24日	～ 2025年5月30日	7
5	創域理工学部 機械航空宇宙工学科	嘱託助教	口頭発表	スペイン	マドリード	2025年6月7日	～ 2025年6月14日	8
6	創域理工学部 建築学科	嘱託助教	口頭発表	オーストラリア	ブリスベン	2025年6月21日	～ 2025年6月27日	7
7	先進工学部 物理工学科	嘱託助教	口頭発表	シンガポール	シンガポール	2025年6月29日	～ 2025年7月6日	8
8	創域理工学部 建築学科	嘱託助教	口頭発表 ポスター発表	オーストラリア	ウィーン	2025年7月5日	～ 2025年7月14日	10
9	理学部第一部 物理学科	嘱託助教	ポスター発表	カナダ	モントリオール	2025年7月6日	～ 2025年7月12日	7
10	工学部 機械工学科	嘱託助教	口頭発表 ポスター発表	デンマーク	コペンハーゲン	2025年7月14日	～ 2025年7月18日	5
11	工学部 電気工学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	カリフォルニア	2025年7月21日	～ 2025年7月25日	5
12	先進工学部 生命システム工学科	嘱託助教	ポスター発表	オーストラリア	ブリスベン	2025年8月3日	～ 2025年8月8日	6
13	先進工学部 物理工学科	嘱託助教	口頭発表	スペイン	ビルバオ	2025年8月7日	～ 2025年8月14日	8
14	先進工学部 機能デザイン工学科	嘱託助教	口頭発表	カナダ	バンクーバー	2025年8月8日	～ 2025年8月21日	14
15	理学部第二部 数学科	嘱託助教	ポスター発表	スイス	バーゼル	2025年8月23日	～ 2025年8月30日	8
16	工学部 機械工学科	嘱託助教	口頭発表	アイルランド	ダブリン	2025年8月24日	～ 2025年8月31日	8
17	創域理工学部 機械航空宇宙工学科	嘱託助教	口頭発表	アイルランド	ダブリン	2025年8月24日	～ 2025年9月8日	16
18	理学研究科 科学教育専攻	嘱託特別講師	口頭発表	イタリア	フィレンツェ	2025年9月1日	～ 2025年9月6日	6
19	創域理工学部 先端物理学科	嘱託助教	口頭発表	フランス	ナンシー	2025年9月6日	～ 2025年9月14日	9
20	理学部第二部 数学科	嘱託助教	口頭発表	チェコ	ブルノ	2025年9月7日	～ 2025年9月14日	8
21	工学部 工業化学科	嘱託助教	ポスター発表	ポーランド	ケルツェ	2025年9月7日	～ 2025年9月14日	8
22	創域理工学部 先端化学科	嘱託助教	ポスター発表	イギリス	プリストル	2025年9月7日	～ 2025年9月17日	11
23	工学部 情報工学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	ロックビル	2025年9月23日	～ 2025年9月28日	6
24	工学部 機械工学科	嘱託助教	口頭発表	アメリカ	ロサンゼルス	2025年10月11日	～ 2025年10月16日	6
25	理学研究科 科学教育専攻	嘱託助教	ポスター発表	タイ	バンコク	2025年10月13日	～ 2025年10月17日	5
26	理学部第一部 物理学科	嘱託助教	招待講演	中国	山東省青島	2025年10月17日	～ 2025年10月22日	6
27	工学部 電気工学科	嘱託助教	口頭発表	アメリカ	フィラデルフィア	2025年10月18日	～ 2025年10月25日	8
28	先進工学部 電子システム工学科	嘱託助教	口頭発表 ポスター発表	中国	杭州	2025年10月18日	～ 2025年10月25日	8
29	工学部 機械工学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	ヒューストン	2025年11月22日	～ 2025年11月27日	6
30	先進工学部 物理工学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	ボストン	2025年11月29日	～ 2025年12月7日	9
31	創域理工学部 建築学科	嘱託助教	口頭発表	チュニジア	モナスティル	2025年12月3日	～ 2025年12月12日	10
32	工学部 機械工学科	嘱託助教	口頭発表	オーストラリア	ブリスベン	2025年12月5日	～ 2025年12月11日	7
33	先進工学部 生命システム工学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	フィラデルフィア	2025年12月5日	～ 2025年12月11日	7
34	薬学部 薬学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	ホノルル	2025年12月14日	～ 2025年12月19日	6
35	創域理工学部 社会基盤工学科	嘱託助教	口頭発表	アメリカ	ニューオリンズ	2025年12月14日	～ 2025年12月20日	7
36	先進工学部 マテリアル創成工学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	ホノルル	2025年12月15日	～ 2025年12月19日	5
37	工学部 電気工学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	ホノルル	2025年12月15日	～ 2025年12月21日	7
38	創域理工学部 先端化学科	嘱託助教	口頭発表	アメリカ	ホノルル	2025年12月15日	～ 2025年12月21日	7
39	研究推進機構 総合研究院	嘱託講師	ポスター発表	アメリカ	ホノルル	2025年12月15日	～ 2025年12月21日	7
40	理学部第一部 化学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	ホノルル	2025年12月15日	～ 2025年12月22日	8
41	薬学部 薬学科	嘱託助教	口頭発表	アメリカ	ホノルル	2025年12月16日	～ 2025年12月21日	6
42	理学部第一部 化学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	ホノルル	2025年12月17日	～ 2025年12月20日	4
43	工学部 工業化学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	ホノルル	2025年12月17日	～ 2025年12月21日	5
44	創域理工学部 先端化学科	嘱託助教	ポスター発表	アメリカ	ホノルル	2025年12月17日	～ 2025年12月21日	5
45	先進工学部 機能デザイン工学科	嘱託助教	口頭発表	メキシコ	カンクン	2026年1月10日	～ 2026年1月17日	8
46	創域理工学部 経営システム工学科	嘱託助教	ポスター発表	シンガポール	シンガポール	2026年1月20日	～ 2026年1月25日	6
47	理学部第二部 数学科	嘱託助教	招待講演 口頭発表	韓国	ソウル	2026年2月1日	～ 2026年2月6日	6
48	教養教育研究院 神楽坂キャンパス教養部	嘱託助教	口頭発表	アメリカ	サンフランシスコ	2026年2月18日	～ 2026年2月24日	7

## 6. 外国人教員の増員並びに研究室の国際化の推進

### 6-1 外国人教員の雇用

外国人教員の雇用状況

【2025 年度実績】 59 名（2024 年度実績 64 名）

2025 年 5 月 1 日現在

本学専任教員数（職名別）

所属名称	教授			准教授			講師			助教			全体			
	計	内訳		計	内訳		計	内訳		計	内訳		計	内訳		
		女性	外国籍		女性	外国籍		女性	外国籍		女性	外国籍		女性	外国籍	
学校法人 東京理科大学	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	0	
計	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	0	
理学部第一部	理学部第一部数学科	7	1	0	4	2	0	1	0	0	8	0	0	20	3	0
	理学部第一部物理学	6	1	0	5	0	1	2	0	0	6	1	1	19	2	2
	理学部第一部化学科	6	0	0	6	1	0	2	0	0	5	0	0	19	1	0
	理学部第一部応用数学科	9	1	0	2	1	1	3	1	0	5	0	0	19	3	1
	理学部第一部応用化学科	9	0	0	2	0	0	3	0	0	5	1	1	19	1	1
	計	37	3	0	19	4	2	11	1	0	29	2	2	96	10	4
理学部第二部	理学部第二部数学科	3	1	0	4	0	0	1	0	0	5	1	0	13	2	0
	理学部第二部物理学	4	0	0	3	0	0	0	0	0	4	1	0	11	1	0
	理学部第二部化学科	4	0	0	3	1	0	2	0	0	3	0	0	12	1	0
計	11	1	0	10	1	0	3	0	0	12	2	0	36	4	0	
薬学部	薬学部薬学科	21	3	0	6	3	0	4	0	1	13	5	0	44	11	1
	薬学部生命創薬科学科	9	0	0	3	0	0	3	1	0	6	1	0	21	2	0
	計	30	3	0	9	3	0	7	1	1	19	6	0	65	13	1
工学部	工学部建築学科	7	1	0	6	2	1	0	0	0	9	3	3	22	6	4
	工学部工業化学科	6	0	0	5	1	0	4	1	0	5	1	0	20	3	0
	工学部電気工学科	10	0	0	3	0	0	0	0	0	7	1	2	20	1	2
	工学部情報工学科	6	1	0	5	1	0	1	0	0	7	0	2	19	2	2
	工学部機械工学科	9	0	0	3	0	0	0	0	0	6	0	1	18	0	1
	計	38	2	0	22	4	1	5	1	0	34	5	8	99	12	9
創域理工学部	創域理工学部数理科学科	8	2	0	4	0	0	2	0	0	5	0	0	19	2	0
	創域理工学部先端物理学	10	0	0	2	0	0	0	0	0	7	0	0	19	0	0
	創域理工学部情報計算科学科	5	2	0	4	0	0	2	1	0	6	0	1	17	3	1
	創域理工学部生命生物科学科	8	0	0	3	2	0	1	0	0	7	3	0	19	5	0
	創域理工学部建築学科	8	1	0	3	0	0	2	0	1	6	1	2	19	2	3
	創域理工学部先進化学科	9	0	0	3	0	0	2	1	0	7	1	0	21	2	0
	創域理工学部電気電子情報工学科	10	0	0	6	0	0	2	1	0	6	0	2	24	1	2
	創域理工学部経営システム工学科	7	1	0	3	1	1	2	1	0	5	1	2	17	4	3
	創域理工学部機械航空宇宙工学科	10	0	0	3	0	0	2	0	0	5	0	1	20	0	1
	創域理工学部社会基盤工学科	8	0	0	2	0	0	2	0	0	7	0	0	19	0	0
	計	83	6	0	33	3	1	17	4	1	61	6	8	194	19	10
先進工学部	先進工学部電子システム工学科	7	0	0	5	0	0	0	0	0	2	0	1	14	0	1
	先進工学部マテリアル創成工学科	10	0	0	1	0	0	2	0	0	8	1	1	21	1	1
	先進工学部生命システム工学科	9	2	0	3	0	0	0	0	0	8	1	1	20	3	1
	先進工学部物理工学科	10	0	0	1	0	0	2	0	0	7	1	1	20	1	1
	先進工学部機能デザイン工学科	7	0	0	4	0	0	0	0	0	6	0	1	17	0	1
	計	43	2	0	14	0	0	4	0	0	31	3	5	92	5	5
経営学部	経営学部経営学科	9	3	0	4	1	0	3	2	1	2	0	1	18	6	2
	経営学部ビジネスエコノミクス学科	8	0	1	5	1	0	0	0	3	1	0	16	2	1	
	経営学部国際デザイン経営学科	5	1	0	5	2	1	0	0	0	2	1	0	12	4	1
	計	22	4	1	14	4	1	3	2	1	7	2	1	46	12	4
理学研究科	理学研究科科学教育専攻	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	
計	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0		
創域理工学研究科	創域理工学研究科国際火災科学専攻	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	
計	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0		
経営学研究科	経営学研究科技術経営専攻	10	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	11	1	0	
計	10	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	11	1	0	
教養教育研究院	教養教育研究院神楽坂キャンパス教養部	16	3	0	10	5	2	3	2	1	2	1	0	31	11	3
	教養教育研究院野田キャンパス教養部	15	1	1	8	2	0	3	0	1	2	0	2	28	3	4
	教養教育研究院葛飾キャンパス教養部	14	3	2	7	5	1	8	4	4	2	1	2	31	13	9
	教養教育研究院北海道・長万部キャンパス教養部	5	1	0	4	0	1	4	1	2	0	0	0	13	2	3
	計	50	8	3	29	12	4	18	7	8	6	2	4	103	29	19
教育支援機構	教育支援機構教職教育センター	6	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	0
	教育支援機構理数教育研究センター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	計	7	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	0
研究推進機構	研究推進機構総合研究院	3	0	1	3	0	0	7	0	1	7	1	4	20	1	6
	研究推進機構生命医科学研究所	7	0	0	6	0	0	4	0	0	9	5	1	26	5	1
	計	10	0	1	9	0	0	11	0	1	16	6	5	46	6	7
総計	355	32	5	161	31	9	81	16	12	216	34	33	813	113	59	

## 6-2 外国人留学生獲得による研究室の国際化の推進

### (1) 国費外国人留学生制度

文部科学省では、世界の発展に貢献する人材を育成する目的や、大学の主体的な留学生交流を促進し国際競争力の強化を図る観点から、国費外国人留学生制度を設けている。本学では次の受入れ形態がある。

#### ① 大使館推薦

在外公館が主体となり海外に在住する学生を現地における選考試験の結果に基づき推薦する制度。

※奨学金、教育費(大学における入学金、授業料及び入学検定料)、旅費(渡日旅費、帰国旅費)は、文部科学省が負担する。

#### ② 大学推薦 (一般枠・特別枠)

大学が主に大学間交流協定等を締結する海外の大学と協力して海外に在住する学生を新規渡日者として推薦する制度。

【一般枠】例年学内公募制となっており、要件を満たす留学生を国際化推進センターで選考し、本学から推薦している。

【特別枠】本学の創域理工学研究科国際火災科学専攻が 2024 年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に採択されており、年度毎に優先配置枠数 6 名を獲得している。優先配置期間は 2025 年度新規渡日分から 3 年間である。

#### <奨学金給付金額>

月額 143,000 円 (研究生等)

月額 144,000 円 (修士課程及び専門職学位課程)

月額 145,000 円 (博士課程)

(特定の地域において就学・研究する者に対し、月額 2,000 円または 3,000 円を月額単価に加算。

なお、予算の状況により各年度で金額は変更される場合がある)

#### <奨学金給付期間>

奨学金支給期間は、渡日後に在籍するそれぞれの課程によって異なる。

大学院修士課程、博士課程及び専門職学位課程に在籍する場合、標準修業年限とする。また、研究生等から大学院の正規課程等に進学希望の者で、一定の基準を満たす特に成績優秀な者については、進学に伴う奨学金支給期間の延長審査を受け、奨学金支給期間が延長されることがある。

#### 2025 年度 国費外国人留学生数

大使館推薦による国費外国人留学生	2 名
大学推薦による国費外国人留学生 (一般枠・特別枠)	26 名
合 計	28 名

## (2)マレーシアツイニングプログラム

マレーシア政府の資金によるマレーシア日本高等教育プログラム(MJHEP) とコンソーシアムを組む日本の大学(加盟校 24 大学)が、現地で3年間の準備教育、専門基礎教育(電気系・機械系)を受けたマレーシア人学生を3年次に編入学させるプログラムである(2010年度から受入れ開始)。

2022年度(2023年4月に編入学)から新たに UniKL JUP プログラムが実施されており、2025年度は4期生の受け入れに当たり、工学部電気工学科及び機械工学科、創域理工学部電気電子情報工学科及び機械航空宇宙工学科、先進工学部電子システム工学科の5つの学科が11月に編入学試験を実施した。

この結果、5名の留学生の入学が決定した。

### 【UniKL JUP 入学者実績】

学部	学科	2023 年度	2024 年度	2025 年度
工学部	電気工学科	1	0	0
	機械工学科	0	0	0
創域理工学部	電気電子情報工学科	2	3	2
	機械航空宇宙工学科	1	1	3
先進工学部	電子システム工学科	—	1	0

### (3)IAESTE による海外学生の受入れ

IAESTE (The International Association for the Exchange of Students for Technical Experience) が仲介を行う、STEM 等の分野のインターンシップ制度である。日本では一般社団法人日本国際学生技術研修協会 (IAESTE Japan) が事務局を務め、欧米を中心に研修生を受け入れている。

#### 【国際化推進センター負担経費】

滞 在 費：30,000 円/週、宿舎手配料：12,000 円/人

#### 【2025 年度実績】

受入研修生数：9 名

	受入部局	国籍	受入期間		在籍日数
1	先進工学研究科機能デザイン工学専攻	スロベニア	2025年6月9日	～ 2025年8月2日	55
2	工学研究科機械工学専攻	ベルギー	2025年6月30日	～ 2025年9月12日	63
3	理学研究科化学専攻	チェコ	2025年6月30日	～ 2025年9月12日	56
4	工学部建築学科	ルーマニア	2025年7月23日	～ 2025年10月7日	58
5	工学部機械工学科	マケドニア	2025年8月25日	～ 2025年10月19日	56
6	創域理工学部機械航空宇宙工学科	ドイツ	2025年8月25日	～ 2025年11月14日	82
7	工学研究科建築学専攻	スロバキア	2025年9月15日	～ 2025年12月7日	84
8	工学研究科機械工学専攻	ポーランド	2025年9月22日	～ 2025年12月14日	84
9	薬学研究科薬科学専攻	ドイツ	2025年9月29日	～ 2026年1月29日	123

※本学からの滞在費支給は 12 週間のみ。

#### (4)独立行政法人国際協力機構（JICA）事業による海外学生の受入れ

JICA が実施する、外国人を日本の大学の正規学生として受け入れる事業「JICA 研修員（学位課程就学者）制度」を通じ、2023 年 10 月から 1 名の受入れを開始した。

研修員の大学受験に係る費用、入学金、授業料等は全て JICA から大学に直接支払われる他、研修員の生活費も奨学金の形で支給される。

JICA 研修員は、将来途上国等において指導的立場に就く可能性のある人材であり、彼らを育成することが、我が国とそれらの国の関係強化につながる他、本学としては彼らを受け入れることによる国際化の推進、教育や研究水準の向上が期待できる。

なお、2025年度後期からは、創域理工学研究科 国際火災科学専攻（修士課程）において、「JICA開発大学院連携プログラム」を開始し、火災科学の専門知識と国際的な視野を兼ね備えた、世界で活躍する有為な人材の育成に寄与する。

##### 【2023年度】

受入研修生数：1 名（所属：理学研究科化学専攻 国籍：インド）

コース名：インド工科大学ハイデラバード校日印産学研究ネットワーク構築支援プロジェクト

受入期間：2023 年 10 月 1 日～2024 年 3 月 31 日 研究生

2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日 博士後期課程

##### 【2024年度】

受入研修生数：0名

※2024年10月から1名を受入予定だったが、JICAによる最終選考で不合格となった。

##### 【2025年度】

受入研修生数：1 名（所属：創域理工学研究科国際火災科学専攻 国籍：フィジー）

コース名：SDGsグローバルリーダー（大洋州）

受入期間：2025 年 10 月 1 日～2027 年 9 月 30 日 修士課程

## (5)国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

## 「国際青少年サイエンス交流事業」(さくらサイエンスプログラム: SSP)

JST が実施する本事業は、産学官の緊密な連携により、諸外国・地域の優秀な青少年に日本の先端的な科学技術に触れる機会を提供することを通して、科学技術イノベーションに貢献しうる海外からの優秀な人材との継続的な研究等の交流を促進することを目的とするものである。

## 【交流形態】

## ◆さくら招へいプログラム

## ○A コース「科学技術体験コース」

日本の先端的な科学技術に触れる機会と日本の研究者・学生等との交流体験を通して、科学技術分野における継続的な交流を促進する。

## ○B コース「共同研究活動コース」

国際共同研究のテーマや計画の策定、予備的な実験等、共同研究を開始する、あるいは具体的な共同研究に参加させる活動を対象とする。

## ○C コース「科学技術研修コース」

送出し国・地域のニーズあるいは地球規模課題の解決に資する科学技術に関する具体的な技術・能力の習得の機会を提供する活動を対象とする。

## 【2025年度実績】 さくら招へいプログラム: 5 件

	コース	所属	受入機関	国名	招へい人数
1	A	理学研究科物理学専攻	アインシャムス大学	エジプト	3
2	A	理学研究科物理学専攻	インドネシアイスラム大学、 ミンダナオ州立大学イリガン工科大学	インドネシア、 フィリピン	8
3	B	創域理工学部機械航空宇宙工学科	国立台湾大学	台湾	5
4	A	創域理工学部社会基盤工学科	SRM科学技術大学	インド	8
5	C	先進工学部生命システム工学科	ベトナム国家大学ホーチミン市校工科大学	ベトナム	8

## (6) インド若手科学頭脳循環プログラム

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が、インドとの研究交流強化を目的として実施している「インド若手科学頭脳循環プログラム」は、共同研究を基盤に、インドの優秀な若手研究人材を日本に招へいし、研究活動を行うことで、日本の科学技術力の維持・向上を目指すプログラムである。

JST は、招へい者 1 名につき最長 12 か月間、滞在費 20 万円／月および海外旅行傷害保険の月額相当額を支援する。これに加え、消費税相当額および一般管理費を実施機関向けの支援金として支給する。

また、インド側実施主担当者の招へいも可能であり、滞在費 41 万 3,000 円／月（基準額）に加え、消費税相当額および一般管理費を、招へい者への支援とは別に実施機関に支援する。

【2025 年度実績】 招へい 5 件（招へい者 5 名、インド側実施主担当者 5 名）

所属	インド側機関名	招へい期間（予定含む）
理学部第一部応用化学科	インド工科大学ハイデラバード校	2026年3月-2027年3月
工学部機械工学科	インド工科大学グワハティ校	2026年4月-2027年2月
薬学部薬学科	インド工科大学ルールキー校	2026年3月-2027年3月
創域理工学部機械航空宇宙工学科	インド工科大学ヴァーラーナシー校	2026年3月-2026年6月
研究推進機構生命医科学研究所	インド工科大学ハイデラバード校	2026年3月-2027年3月

## (7) さくらサイエンスプログラム双方向交流派遣

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の国際青少年サイエンス交流事業（SSP）を通じて本学に受入れた機関に対し、本学の教員及び学生を派遣して、双方向で交流を深めることを目的としている。

【2025年度実績】 派遣：3 件

	所属	派遣機関	国名	派遣人数※
1	理学部第二部物理学科 理学研究科物理学専攻	アインシャムス大学	エジプト	7
2	理学部第一部物理学科 理学研究科物理学専攻	インドネシアイスラム大学	インドネシア	4
3	創域理工学部機械航空宇宙工学科 創域理工学研究科機械航空宇宙工学専攻	國立台湾大学	台湾	4

※ 派遣人数は教員各1名を含む。

## (8) ビザ取得支援

本学の国際化推進支援のため、本学で直接雇用する外国人研究者、又は本学に新規入学予定である外国人留学生に向けて、長期滞在者向けの在留資格交付申請を代行している。

在留資格認定証明書に係る事務手続きを円滑に進めるため、学外行政書士法人与業務委託契約を結び、在留資格申請者の負担軽減に努めている。一定の要件を満たす場合の業務委託料は、国際支援課予算から支出している。当課において支援する在留資格の種類は、「教授」及び「留学」である。

2025 年度サービスを通しての在留資格認定証明書申請件数

在留資格	件数
教授	15
留学	65

### 【2025 年度実績】

申請件数：80 件

## (9) 学内宿泊施設の管理・利用促進

グローバル人材の育成、国際交流の場の提供を目的として野田キャンパス内に「野田国際コミュニティハウス」を設置している。

コミュニティハウス内には、ハウスアシスタント（以下「HA」という）と呼ばれる日本人留学生とペアで居住するシェアルームがあり、国際化推進センター事業で受入れる短期滞在の外国人留学生が当施設へ入居し、日々の生活をHAがサポートしている。

協定校等からの受入れ学生が入居を希望する場合、一定の期間、国際化推進センター予算で外国人留学生の利用料の補助をしている。

### 【2025 年度実績】

外国人留学生：23 名

国籍	入居者数
インド	9
台湾	6
中国	3
フランス	2
カナダ	1
タイ	1
ドイツ	1

## 6-3 英語を用いた指導による研究室の国際化の推進

### (1)教育職員・博士後期課程学生向け英語講座

教員の英語プレゼンテーションや英語を用いた講座運営に必要な技術の向上を目的として、2014 年度より教育 DX 推進センターとの共催で、FD セミナーを開催してきた。

2023 年度より上記教員向け英語講座に加え、中期計画 2026 の重点課題「大学院生・若手研究者の国際会議での発表促進」に資するべく、プレ FD セミナーとして博士後期課程学生向け英語講座も実施している。

#### 【教育職員向け英語講座】

##### ▶第 1 回セミナー：世界に伝える研究発表講座～英語プレゼンテーション少人数ワークショップ～

開催日時：①2025 年 10 月 23 日（木）18:00～20:00

②2025 年 11 月 22 日（土）9:00～12:00

（※同じ内容の講座を、2 日に分けて実施した）

形 式：オンライン（Zoom）

定 員：合計 10 名（各回 5 名）

参加者：合計 2 名（各回 1 名）

講 師：Dr. Schmidt-Fajlik, Ronald 氏（一般財団法人国際教育振興会 日米会話学院）

##### ▶第 2 回セミナー：教室英語実践講座～大学・大学院の授業を英語「で」教えるテクニックを磨く～

開催日時：2025 年 11 月 7 日（金）18:00～21:00

定 員：12 名

参加者：3 名

形 式：対面及びオンライン（Zoom）

講 師：吉中昌國講師（株式会社アルクエデュケーション）

#### 【博士後期課程及び博士課程学生向け英語講座】

##### ▶世界に伝える研究発表講座～英語プレゼンテーション少人数ワークショップ～

開催日時：①2025 年 9 月 16 日（火）13:00～16:00

②2025 年 10 月 16 日（木）13:00～16:00

（※同じ内容の講座を、2 日に分けて実施した）

形 式：オンライン（Zoom）

定 員：合計 10 名（各回 5 名）

参加者：合計 5 名（①3 名、②2 名）

講 師：Dr. Schmidt-Fajlik, Ronald 氏（一般財団法人国際教育振興会 日米会話学院）

## 7. その他

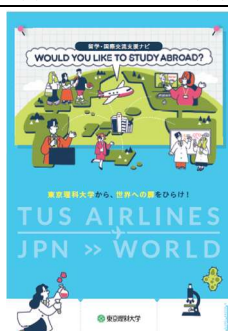
### 7-1 学生への情報提供の充実

#### (1)留学・国際交流パンフレットの作成、Web サイトの更新

国際化推進センターで実施している海外留学プログラム等の学内広報を目的にパンフレットを作成し、学生の父母、新入生、留学説明会参加者、及び希望する学生等へ配布している。父母懇談会やオープンキャンパスにおいても配布を行っている。

また、Web サイトの更新を定期的に行い、最新の情報を提供している。

国際化推進センターパンフレット：<https://tus.box.com/s/bm819tw4u8vg7pulw83zh4z5bm2l0bov>



国際化推進センター留学サイト：[https://www.tus.ac.jp/kokusai\\_program/](https://www.tus.ac.jp/kokusai_program/)



#### (2)チャットボットの導入・活用

2023年5月から、チャットボットを運用している。チャットボットは本学ホームページ内及び LETUS に設置し、学生からの質問・要望を適宜 FAQ に反映させる形で活用している。

#### (3)LINE

学内広報強化の一環として、2018年6月より日本国内で非常に高い普及率を誇る LINE による情報配信を行っている。

2026年3月31日時点で友達数（登録者数）は1,757名で、インターナショナルラウンジイベント、国際化推進センター各種事業募集などの情報に関して、年間延べ約10万件のメッセージを発信している。

## 7-2 学外団体の利用

### (1) トビタテ！留学 JAPAN 新日本代表プログラム

文部科学省では、2013 年度から日本の若者の海外留学を後押しする「トビタテ！留学 JAPAN」を官民共同で推進している。2020 年度までの実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で 2022 年度まで延長された第 1 ステージの事業では、本学では留学奨学金「日本代表プログラム」第 1 期～第 14 期への申請及び奨学金支給に関する支援を行ってきた。

コロナ禍で落ち込んだ留学生数をコロナ前の水準に早期に回復させることを目指し 2023 年度から 2027 年度までの 5 年間、第 2 ステージの実施が決定した。その一環である留学奨学金「新・日本代表プログラム」について、本学では引き続き申請及び奨学金支給に関する支援を行っている。

2025 年度（第 17 期）実績

申請者数：6 名、採択者数：2 名（うち 1 名辞退）

### (2) 日本学生支援機構（JASSO）留学生支援事業

日本学生支援機構（JASSO）は、グローバル化が進展する中、留学生交流を推進するため、外国人留学生の受入・日本人学生の派遣の両面から奨学金の支給等の支援事業を実施しており、本学では国際化推進センターが申請に係る事務を担っている。

### (3) 日本学術振興会（JSPS）

日本学術振興会（JSPS）は、我が国の学術研究及び国際化の進展を図り、日本人研究者の海外派遣に係る事業や諸外国の優秀な研究者を招へいする事業を実施している。以下の事業について本学では国際化推進センターが申請に係る事務を担っている。

#### 【募集事業】

#### ① 研究者養成事業

▶ 海外特別研究員：2025 年度採択 1 件（申請 3 件）

#### ② 国際交流事業

▶ 外国人特別研究員（一般）：2025 年度採択 1 件（JSPS からの受入依頼 1 件、申請 9 件）

▶ 外国人特別研究員（欧米短期）：2025 年度採択 0 件（申請 1 件）

▶ 外国人招へい研究者（長期）：2025 年度採択 0 件（申請 1 件）

▶ 外国人招へい研究者（短期）：2025 年度採択 0 件（申請 9 件）

▶ 外国人再招へい研究者：2025 年度採択 1 件（JSPS からの受入依頼 1 件）

以下の事業については 2025 年度の申請者なし。

▶ 外国人特別研究員（サマー・プログラム） ▶ リンダウ・ノーベル賞受賞者会議派遣事業

▶ 特定国派遣研究者

▶ 先端科学（FoS）シンポジウム

#### (4)JAFSA

国際化に資する種々の情報を収集するため、本学は JAFSA（国際教育交流協議会）に加盟している。JAFSA は、1968 年に設立され 2003 年に法人格を取得した特定非営利活動法人（NPO）で、300 以上の大学・教育機関・企業を会員団体とするネットワーク組織である。

提供されるサービス：人材育成（各種研修・セミナー等）、海外フェアへの参加等

#### (5)JCSOS

学生や大学等の教育機関に対し、危機管理セミナーの実施や海外安全情報の提供等を行うことを通じて、海外で学ぶ日本人学生の安全を図ることを目的として設立された特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会（JCSOS）に加盟している。

提供されるサービス：J-TAS（JCSOS トータルアシスタンスサービス）、  
危機管理コンサルティング

#### (6)IAESTE

世界規模での技術的発展、国際理解と親善を促進し、質の高い実践的な滞在費支給型海外インターンシッププログラムを提供する非営利・非政府団体 IAESTE（イアエステ）に加盟し、本学内でのインターンを希望する学生を受入れている。IAESTE は、1948 年にイギリスで設立され 累計 35 万人以上のインターンシップ生を輩出し、世界 80 カ国以上に支部を持つ世界最大級のインターンシップ斡旋組織となっている。

提供されるサービス：海外インターンシップ学生受入れの斡旋

#### (7)米国非営利教育財団 スタディ・アブロード・ファウンデーション（SAF）

約 180 を超える名門大学の国際的な大学ネットワークを有する SAF と連携し、本学学生の私費留学や短期留学を支援している。

2025 年度、同団体のプログラムに関する本学学生からの留学状況は次のとおり。

NO	形態	プログラム	派遣先国	学部	学科	出発日	帰国日
1	渡航	分野別短期研修	アイルランド	経営学部	経営学科	2025年8月17日	2025年8月31日
2	渡航	分野別短期研修	スペイン	創域理工学部	建築学科	2025年8月31日	2025年9月14日

## 7-3 外国人留学生数

外国人留学生数の状況

【2025 年度実績】 884 名(2024 年度実績 844 名)

2025 年 5 月 1 日現在

国・地域名	学部生		大学院（修士）		大学院（博士）		非正規生		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
中国	313	159	95	32	21	2	2		624
韓国	121	35	9	8	4	1	0		178
台湾	8	4	1			1	0		14
マレーシア	7	3	3				0		13
フランス					1		10	1	12
バングラデシュ			2		4	1			7
タイ				2	1	1		1	5
ベトナム			2	1	2		0		5
インドネシア	1		2	1					4
インド			1			1	1		3
エジプト					1	2			3
ドイツ							2	1	3
アメリカ				1					1
アルゼンチン	1								1
イタリア	1								1
カザフスタン	1								1
カメルーン	1								1
シリア			1						1
スペイン							1		1
ナイジェリア共和国					1				1
パキスタン						1			1
フィリピン						1			1
ブータン								1	1
ペルー		1					0		1
モンゴル	1						0		1
総計	455	202	116	45	35	11	16	4	884

※2025 年度学校基本調査回答に基づき作成

以上